

# **第 10 次一戸町教育振興基本計画**

(令和5年度～令和8年度)

**令和5年4月  
一戸町教育委員会**

# 目 次

<b>序 章 計画の基調</b> .....	<b>1</b>
<b>第1章 生涯学習社会の構築</b> .....	<b>6</b>
第1節 多彩で特色ある学習プログラムの整備	
第2節 地域における自主的学習の促進と学習団体などの育成	
第3節 図書館の利用促進	
<b>第2章 学校教育の充実</b> .....	<b>7</b>
第1節 小・中学校の適正配置と学校施設・設備の整備充実	
第2節 教育内容の充実	
第3節 学校、家庭、地域の連携で総合的な教育の推進と開かれた学校づくり	
第4節 特別支援教育の充実	
第5節 学校給食の充実	
第6節 教育に関わる経済的負担の軽減、就学援助・通学対策の充実	
第7節 教職員の資質の向上	
第8節 県立学校との連携強化と学びの分野の拡充	
第9節 いじめ、不登校等への対応の充実	
<b>第3章 青少年の健全育成</b> .....	<b>15</b>
第1節 活動支援の人材養成	
第2節 子ども行事の活性化	
第3節 健全な社会環境づくりの推進	
<b>第4章 スポーツの推進</b> .....	<b>15</b>
第1節 スポーツ団体の育成および指導者の確保	
第2節 スポーツ・レクリエーション実践活動の促進	
第3節 スポーツ交流の促進	
第4節 スポーツ施設の整備	

<b>第5章 世界遺産「御所野遺跡」を守り伝えるまちづくりの推進</b> .....	<b>17</b>
第1節 次代への継承	
第2節 世界遺産としての価値の理解促進	
第3節 新たな交流・産業の創出	
<b>第6章 歴史文化の継承と創造</b> .....	<b>19</b>
第1節 文化財の調査・保護	
第2節 重要文化財旧朴館家住宅の保存修理とまちづくり	
第3節 文化財愛護の機運向上	
第4節 文化芸術の振興	
<b>第7章 主要事業計画</b> .....	<b>21</b>
<b>資料編</b> .....	<b>22</b>

## あ い さ つ

一戸町教育委員会では、昭和39年に第1次一戸町教育振興基本計画を策定して以来、その時々の課題に対応するため、第9次にわたって計画を策定し、教育行政の運営指針とし推進してきたところであります。

その間、当町の教育行政は、教育、文化、スポーツの全般にわたり、町民各位の教育に寄せる熱意と関係者のたゆまぬ努力によって着実に進展してきておりますが、一方では、時代の変遷とともに教育をとりまく環境も日々変化し、国際化、少子・高齢化、価値観の多様化等々から、青少年の問題行動、家庭や地域の教育力の低下や社会全体の規範意識の低下など教育をめぐる多くの課題が提起されております。

このような社会情勢の中で、わが国の教育の普遍的な使命は、教育基本法の理念・目的の実現のための、社会や時代の変化への対応です。教育振興基本計画は予測困難な時代における教育の方向性を示す「羅針盤」となるものであり、教育は社会を牽引する駆動力の中核を担う営みと示しております。

一戸町におきましても町長と教育委員会からなる「一戸町総合教育会議」が開催され、町長が策定することとされている「教育に関する大綱」についても総合教育会議の場で協議し「一戸町教育大綱」を策定しております。大綱の策定に当たっては、町の最上位計画として平成31年3月に策定された「一戸町総合計画（基本計画）」の教育部門を同意義と捉え、これを町の大綱として位置付けしております。

一方、町の教育振興基本計画は第9次計画が令和4年度をもって終了していることから、これに続く第10次計画を早急に策定する必要がありますが、本計画は当然のこととして町の教育大綱に即して計画されるべきとの考えから、これを柱に必要な具体性を加えたものを当町の次期計画とするものであります。

令和5年度から4年間にわたる本計画は、当町における教育行政の基本的方向性を明らかにし、その実現に向けた施策を総合的かつ計画的に推進するとともに、当町教育の一層の振興を期して策定いたしました。

教育の振興は、行政のみならず教育関係者の善意と努力及び町民の皆様方の深いご理解とご協力があって成しうるものであり、関係各位のご協力を切にお願いし、あいさつといたします。

令和5年4月

一戸町教育委員会

## 序章 計画の基調

### 第1 計画策定の趣旨

第9次一戸町教育振興基本計画を策定した令和2年から既に3年が経過しました。この間、英語教育の改革、道徳教育の教科化、教育委員会制度の改革等、教育に係る大きな制度変更が国から次々と示されました。

また、平成27年4月1日に改正となった地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律により、総合教育会議を設置するとともに一戸町教育大綱を策定したところです。

教育大綱の策定に当たっては、令和5年3月に策定された「一戸町総合計画後期基本計画」の教育・文化・スポーツの施策分野を同意義と捉え、これを町の大綱として位置付け、町長部局と教育委員会が一体となって町の教育振興に取り組んでいくこととしました。

この教育大綱の具現化を図るため、教育振興基本計画の見直しを行い、第10次一戸町教育振興基本計画を策定するものです。

### 第2 計画の性格

- (1) 中・長期的展望に立つ当町の教育に関する総合的振興計画であり、「一戸町総合計画基本計画」及び同計画の教育部門で構成される「一戸町教育大綱」に関する具体的な内容を定めるものです。
- (2) 町民及び町内の教育関係各機関に対してこの計画の基本方向や事業の推進について理解と協力を求めるとともに、その実現に向かって積極的に取り組んでいくべき具体的内容を示すものです。

### 第3 計画の期間

第9次一戸町教育振興基本計画の期間が、令和4年度を持って終了したことから本計画期間は、令和5年度から令和8年度までの4カ年とするものです。

策定にあたっては、令和5年3月に策定された一戸町総合計画後期基本計画（令和5年度～令和8年度）を基に策定した一戸町教育大綱の具現化を図るものです。

### 第4 計画の構成

- (1) 本計画は「一戸町教育大綱」の基本的な施策である「教育振興基本計画」です。
- (2) 「一戸町教育大綱」は、一戸町総合計画後期基本計画の教育・文化・スポーツの施策分野からなり、町民及び町の教育関係者の共通の目標となるものです。
- (3) 「教育振興基本計画」は、生涯学習、学校教育、青少年、生涯スポーツ、世界遺産、歴史文化の各領域の基本的計画の方向性を明らかにするものです。

## 第5 計画の骨子

### (1) 教育振興の基本方向

平成27年4月1日に改正となった地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律に基づき、教育の政治的中立性・継続性・安定性を確保しつつ、地方教育行政における責任の明確化、迅速な危機管理体制の構築、町長との連携強化を図りながら、教育の質の向上と町民の期待に応える教育行政の推進に向け取り組んでいく必要があります。そのためには、一戸町教育行政の現状及び課題を踏まえ、より良い教育の実現に向けて、学校・家庭・地域・行政が一体になり、町全体で取り組むことが大切です。また、社会構造の変化に伴い、町民の価値観も多様化してきている中、教育のあり方についても改めて検証し、議論を進めていくことが大切です。一戸町総合計画に掲げる「将来を担う人材を育むまちづくり」の推進に向け、町長部局と教育委員会が一体となって取り組むとともに、児童生徒と保護者の目線に立って教育のあり方を考え、地域全体が参加し、一戸町の明るい未来への人づくりを推進していくことが求められています。

### (2) 社会的背景

近年、少子化等に伴う人口減少の進行は全国的な傾向となっており、国際的にはグローバル化や高度情報化が急速に進行してきており、当町を取り巻く社会の情勢は大きく変化してきています。

また、地域社会においては、高齢化の進行、生活に対する意識や価値観の多様化、人間関係の希薄化が懸念されており、各種団体や地域、家庭での主体的な社会参加や学習活動等を通じた地域コミュニティの構築が期待されています。

人口減少、グローバル化や高度情報化など社会が急速に変化する中で、将来を担う子どもたちに、道徳心や他人を思いやる心など豊かな人間性を育むとともに、様々な環境の変化に十分対応できる力を身に付け、広い視野を持って社会の発展に貢献できる人材を育成することが期待されています。

### (3) 主要課題

一戸町における主要教育課題は次のとおりです。

#### ① 社会・経済情勢に柔軟に対応できる人間の育成

未来に向けた町づくりには、社会の変化に柔軟に対応できる、たくましく創造性に富んだ人材を育成していくことが求められています。

このため、生涯にわたって主体的に学習し、自己を高め、充実した人生を送ることを基本とする教育目標を掲げ、その具現化に努める必要があります。

## ② 生涯学習推進体制の充実

すべての人々が生涯を通じて主体的に学習し、その成果を発揮することで、自己を高めながら充実した人生が送れるような社会となることが期待されています。

こうした中で、各施設間での事業調整を図りながら円滑な事業が推進される体制を確立するとともに、関係機関の連携協力により多様化する学習ニーズに応えるための取組が望まれます。

## ③ 次代を担う心豊かでたくましい幼児・児童・生徒の育成

子どもたちが生涯学習時代の担い手として、豊かな心を持ち、たくましく主体的に生きる人間として成長するために、学校教育の果たすべき役割は極めて大きなものがあります。そのためには、時代の要請である「生きる力」をベースとした「生き抜く力」が真に身につく教育を推進するとともに、学校施設の整備拡充や学校設備の長寿命化に向けた計画的な維持管理を図る総合的な教育施策が必要です。

## ④ 町民の健康を保持・増進していく体制の整備拡充

長寿命化社会を迎え、生涯にわたり心身ともに健康で安全な生活を営む習慣や能力を身につけることが重要となってきています。

そこで、人的・物的な条件整備を充実させ、町民の健康に対するニーズに対応できる体制を整備拡充していくことが求められています。

## ⑤ 町民参加による文化活動の展開

文化は町の個性や独自性を生み出す重要な要素であり、それらを生かした個性豊かな町づくりが求められています。

そこで、芸術・文化の拠点を中心に町民の文化意識を高めていくとともに、一戸町固有の文化遺産や歴史的風土を生かしながら、歴史と文化の香り高い町づくりを進めていくことが望まれています。

## (4) 施策の基本方向

教育振興の基本方向及び主要課題を踏まえ、施策の基本方向は次のとおりです。

### ① 生涯学習社会の構築

生涯の各時期において学習が展開されるためには、町民一人ひとりが学習意欲を喚起することと、そのニーズに対応した多様な学習機会が用意されていることが必要です。

そのためには、広く学習意欲を啓発し、各年代・各層の学習活動を支援するとともに、学習環境の整備並びに指導者の充実、学習の成果を生かせる場と機会の充実に努めます。

## ② 学校教育の充実

子どもたちの「生きる力」、「生き抜く力」を育むため、「一の教育」を土台に「5つの力（読む、聞く、書く、話す、考える）」の向上と「知・徳・体」の調和のとれた育成と時勢の要求に応えた教育活動に努め、「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」を持つ子どもの教育が望まれています。

そのためには、今までの「学校・家庭・地域」の横連携に加え、「保・小・中学校教育」の縦連携を大切にした教育内容を充実させるとともに、教員の指導力の向上を図らなければなりません。また、将来を担う人材を育成するには、各学校の地域の特徴を生かした特色ある学校づくりを推進しながら、「ふるさと学習」並びに「SDG s 学習」を柱とした「いちのへ御所野縄文学」の推進と、保育施設と小学校の連携を重視した取り組みが必要です。特に、幼児教育推進モデル事業の推進のため、幼児教育アドバイザーの配置と活用を図ります。

このように、学校教育の教育内容や教育の方法の充実を図りつつ、学校再編の適正な配置を検討し、施設・設備の充実を図ることが望まれます。

## ③ 青少年の健全育成

地域全体で子どもたちを育む環境づくりを推進するため、家庭、地域、学校との連携を図りながら、さまざまな体験・交流活動を提供していくとともに、子どもたちの活動を支援する指導者等の発掘・養成に努めます。

## ④ スポーツの推進

誰もが生涯にわたりスポーツを体験できる機会の充実を図るため、関係団体や地域との連携をとりながら、健康作り教室や各種スポーツ大会等の実施及び支援を行い、日常的に体を動かす習慣が定着するよう努めます。

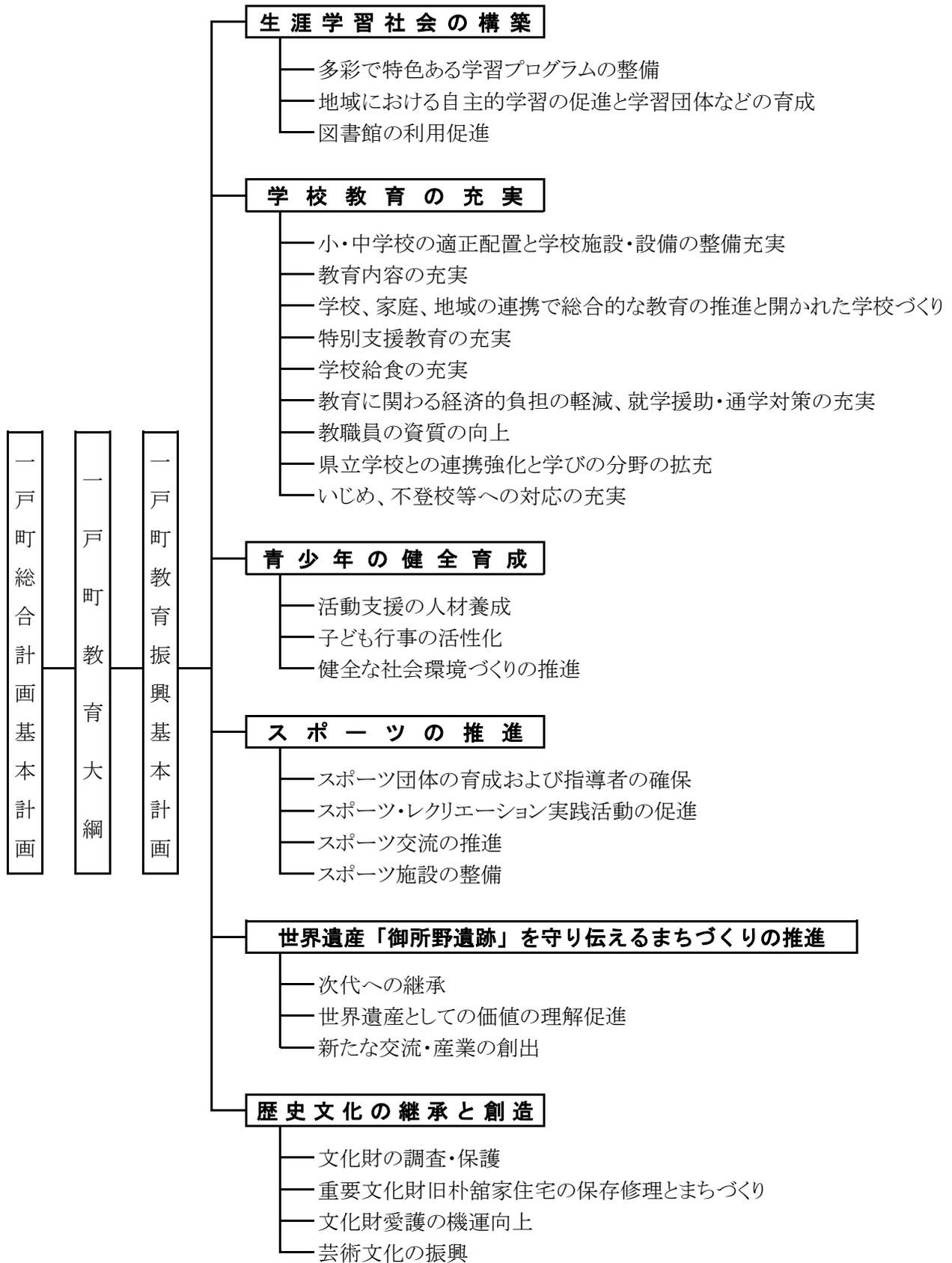
## ⑤ 世界遺産【御所野遺跡】を守り伝えるまちづくりの推進

御所野遺跡の文化的価値の理解を促進し、遺跡を次代に繋ぐ人材の確保と育成、保存活用意識の高揚に務め、そして、世界遺産を通じた新たな交流・産業の創出を目指します。

## ⑥ 歴史文化の継承と創造

地域に受け継がれてきた歴史や文化を将来につなげていくため、文化財の保護と普及啓発に努めるとともに、地域資源として活用することで町民の郷土に対する愛着心の醸成を図ります。

また、町民が生涯を通じて広く芸術文化に親しめるよう、NPO と連携を図りながら芸術鑑賞などの機会を提供するとともに、町民の主体的な芸術文化活動の支援に努めます。



## 第1章 生涯学習社会の構築

### 第1節 多彩で特色ある学習プログラムの整備

各世代における学習ニーズの的確な把握、社会教育講座・教室の充実を核とし多彩で特色ある学習プログラムの整備を推進します。

- ・町民セミナーにおいて、全国的に話題となっている時事・社会問題・環境問題等の現代的課題をはじめ、身近な一戸町の自然・文化・産業等の町の特性など、多くの住民が関心を持って学べるテーマを取り上げます。
- ・各地区センターを中心に、芸術文化・趣味教養等の社会教育講座や体験教室など、多くの方が気軽に参加できるような活動を企画します。

### 第2節 地域における自主的学習の促進と学習団体などの育成

町内会や自治公民館活動等、地域における自主的な生涯学習活動を支援するために、専門知識をもった人材を講師として派遣します。

- ・そよかぜ学級や移動公民館、町職員の派遣などにより、町内会や自治公民館活動等の地域における自主的な生涯学習活動を支援します。
- ・社会教育関係団体の活動支援に努め、活動の活性化を図ります。

### 第3節 図書館の利用促進

教養、調査研究あるいはレクリエーション等における多様な町民のニーズに応えるために、施設・職員・資料の三要素の充実のほか、レファレンスやリクエストなどのサービス充実に努めます。

- ・指定管理者と連携を図り、地域課題解決や教養向上、郷土資料等に関する資料収集と保存を図るとともに、レファレンスやリクエストなどのサービスの充実に努めます。
- ・高齢者や障がいのある人への支援の充実に努めます。
- ・各機関や団体と連携した事業を実施し、図書館の利用促進に努めます。
- ・幼児期からの読書普及活動を推進するとともに、子どもの読書活動推進のため学校図書館や読み聞かせグループ等との連携を図ります。

## 第2章 学校教育の充実

### 第1節 小・中学校の適正配置と学校施設・設備の整備充実

小学校、中学校をはじめとする学校教育施設については、子どもが利用しやすく、安心、安全に学習できるよう、学校施設の計画的な改築及び改修を進めるとともに老朽化施設の処分に努めます。

(1) 小・中学校の適正配置について検討を行います。

- ・一戸町学校統合計画に定めた児童生徒数の基準を目安にすると共に、文部科学省から示された「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き」を参考にしながら、保護者や地域の合意により統廃合の検討を行います。

(2) 小・中学校の各学校施設・設備の整備充実を図ります。

(学校教育機関の施設・設備の計画的な整備充実)

- ・平成30年度に策定した「学校施設等長寿命化計画」により、老朽化施設の整備に努め長寿命化を図るとともに、改築も検討します。
- ・計画外の学校等営繕については、重要度・緊急度により優先順位を付けて、計画的に対応します。
- ・令和元年度に策定した廃校処分計画により、老朽化施設の処分に努めます。

(教育用ICT環境の充実)

- ・タブレット端末、大型提示装置を整備したことからオンライン環境等での活用を進めます。

(学習資料の整備充実)

- ・一戸町や町内各地域に関する資料を整備し、「総合的な学習の時間」の推進に備えます。

(3) 新しい教育内容に即した教材・教具の整備充実を図ります。

- ・教育機器、事務機器の充実をはじめ、児童生徒の資質・能力の育成に向けて、教材・教具・設備の充実を図ります。

### 第2節 教育内容の充実

(1) 就学前の幼児や小学校低学年児童の生活習慣の定着を図るため、保育施設・小学校・保護者と連携して家庭における幼児教育の充実を促進します。

- ・保育施設においては、情緒の安定を図りながら遊びや生活経験の環境を整え、人間形成の基礎を培います。
- ・「一の教育」研修事業により、町内の保育施設、小学校教員による授業参観や交流・懇談を通して、幼少教育の望ましいあり方等について研修を深めるとともに、相互の連携を図り一貫性を強化することにより、就学前教育及び小学校教育の振興充実を図ります。
- ・就学前教育については、自立心、協調性といった幼児期の終わりまでに育ってほしい姿の「10項目」を手がかりに、アプローチカリキュラムの作成を進め、小学校ではそれまでの育ちを教育課程の中でどのようにして学びにつなげるかをまとめたスタートカリキュラムをよりよいものに改善していきます。

(2) 小・中学校に対して学力向上支援員や学校支援員を配置し、基礎学力の定着及び向上を図ります。また、学校と地域、保護者、教育委員会が連携し、学力向上を軸にした教育を推進します。

- ・小学校においては教科全般、中学校においては英語・数学の学力向上のため、必要な学校に学力向上支援員を配置します。
- ・学習面で遅れる児童生徒に対し、きめ細やかな指導を行い、学習内容の理解と定着を図るため、学校支援員を配置します。
- ・自ら学び自ら考える力などの「生きる力」を育むために、地域の豊かな自然や産業、歴史・文化的な資源を教育の対象としてとらえ、学習指導においては地域の人材を活用するなど、専門性を生かした指導の充実を図ります。
- ・地域社会の人材、施設、環境などを教育活動へ積極的に活用するとともに、児童生徒及び教職員がもっている力を地域社会の活動や行事に積極的に生かすなど、学校と地域社会が連携して開かれた学校づくりをめざすように支援や指導・助言をします。
- ・中学生全学年の希望者を対象とした土曜学習、中学2年生の希望者を対象とした英語検定や漢字検定の検定料の補助を令和5年度から小学生まで対象を拡大して実施するほか、ALTの保育施設や小中学校への派遣に加え学童クラブへの派遣も継続します。

(3) ICTを活用した教育や国際理解教育、環境教育など、社会の変化に対応した教育の充実を図ります。

- ・タブレット端末によりICTに親しませるとともに、教科学習、クラブ活動及び情報リテラシー教育等を有効に進める手段として活用の拡大を図ります。

- ・「総合的な学習の時間」のあり方について研修を深めるとともに、国際理解教育、環境教育等については各教科の横断的な学習を推進するよう指導・助言にあたります。また、外国語指導助手の派遣や資料の整備等の支援体制を充実させます。
- ・国際理解教育の一環として中高生海外派遣事業を継続するとともに、中学1年生の希望者を対象とした英語キャンプを今後も継続して実施します。

(4) 体験学習や郷土学習、福祉教育、道徳教育など、郷土愛やおもいやりの心を育てる教育の充実を図ります。

- ・学校が企画する体験的な学習、郷土の学習、文化財の伝承活動、ボランティア活動等の諸活動が、それぞれの地域の諸団体と連携していけるように、人的支援、財政的支援等の体制を整備します。
- ・体験活動等を取り入れた実践的な道徳教育を推進し、学校が地域社会と一体となって道徳性の涵養が図られるよう条件整備に努めます。
- ・平成28年度に立ち上げた「いちのへ御所野縄文学」について、全ての小中学校で取り組むこととし、この縄文文化が一戸にあったことから、ふるさと「いちのへ」を見直し、誇りに思う子どもを育てます。さらに、縄文人の生き方から自らの生き方を考えるE S D教育（持続可能な社会づくりの担い手を育む教育）により、人類が将来の世代にわたり恵み豊かな生活を確保できるよう、気候変動、生物多様性の喪失、資源の枯渇、貧困の拡大等、人類の開発活動に起因する現代社会における様々な問題を、各人が自らの問題として主体的に捉え、身近なところから取り組むことで、それらの問題の解決につながる新たな価値観や行動等の変容をもたらし、もって持続可能な社会を実現していくことを目指して行う学習・教育活動を推進します。

(5) 健康教育の充実、実践力の養成、個々に応じた基礎体力や運動能力の向上、学校安全に向けた取り組みを推進します。

- ・全ての教育課程における健康教育の推進と、生涯にわたり健康づくりを主体的に考え、実践する児童生徒の育成のために、全職員を対象にした多様な研修を計画的に実施します。
- ・児童生徒の健康課題と健康教育推進上の課題の把握及び健康教育推進の基礎とするために、定期的な実態調査を実施します。
- ・健康教育の推進に資するため、一戸町学校保健会との共催により、毎年、「学校保健研究大会」を開催します。

- ・肥満解消の取り組みとして、県が実施する「希望郷いわて 元気・体力アップ 60（ロクマル）プラスプロジェクト」を推進します。
- (6) 中学校・高等学校と企業、行政が連携し、早い時期から仕事への意識を高め、即戦力につながるインターンシップ制度を導入するとともに、将来を見据え踏み出す中・高生の取り組みを応援します。
- (7) 青少年の健全育成を推進するため、読書活動を充実させ豊かな心の醸成を図ります。また、地域や保護者と連携し子どもを取り巻く環境の整備を総合的に推進します。
- ・学校図書館の運営の改善及び向上を図り、児童または生徒及び教員による学校図書館の利用の一層の促進と学力向上に資するため、文部科学省から示された方針に沿って「学校司書」の配置を継続します。
  - ・読書の動機づけを図るため、小中学校の新生を対象とした図書贈呈事業を継続します。
  - ・子どもの「生きる力」を育むために、子どもが言葉に触れ、言葉を学び、感性を磨き、言葉や文字による表現力を高め、創造力を豊かにする活動を進めます。
  - ・児童生徒の主体的な学習活動を支援するために、町立図書館と利用指導などの連携を図ります。

### 第3節 学校、家庭、地域の連携で総合的な教育の推進と開かれた学校づくり

地域にとって子どもは、地域の未来を担うかけがえのない存在であり、教育は学校、家庭や地域ぐるみで営むものであるとの意識を啓発するとともに、学校、家庭、地域の関係団体との連携強化を進め、総合的な教育の推進に努めます。

- (1) 家庭や地域社会との連携を強化し、学校を中心とした家庭や地域社会の育成力の向上を図ります。
- ・教育振興運動において、学校、保護者、地域、行政などの連携を強化し、一層青少年の健全育成に努めます。
  - ・自ら学び自ら考える力などの「生きる力」を育むために、地域の豊かな自然や産業、歴史・文化的な資源を教育の対象としてとらえ、学習指導においては地域の人材を活用するなど、専門性を生かした指導の充実を図ります。
- (2) 教育相談員の設置により、家庭や地域社会と一体となった適切な相談や指導に努め、問題の解消と防止を図ります。

- ・各校における教育相談体制の充実のために、専門的な立場で指導・助言を行うスクールカウンセラーを中学校に配置するとともに、必要に応じスクールソーシャルワーカーによる支援も行い、当町の児童生徒が心豊かで安全に楽しく学習していけるよう努めます。

(3) 地域に密着した開かれた学校づくりを推進します。

- ・教育方針や教育活動について、学校運営協議会委員や地域の方から広く意見を聞くことにより、地域や社会に開かれた学校づくりを推進し、信頼される学校を目指します。
- ・学校参観日「みんなで学校にいこう」を実施し、各学校で発行している「学校便り」を各地域に回覧し、学校経営について地域住民の理解と協力を得られる環境づくりを進めます。
- ・地域社会の人材、施設、環境などを教育活動へ積極的に活用するとともに、児童生徒及び教職員がもっている力を地域社会の活動や行事に積極的に生かすなど、学校と地域社会が連携して開かれた学校づくりをめざすように支援や指導・助言をします。
- ・学校が地域社会におけるその役割を適切に果たすために、体育施設だけでなく、余裕教室や特別教室等の学校施設を地域の人々の学習の場として提供するための体制の充実を図ります。
- ・令和5年4月から、地域住民と保護者が学校運営に取り組む「コミュニティ・スクール」を全学校で実施している。各学校における充実化を図っていく。

#### 第4節 特別支援教育の充実

(1) 心身障がい児の障がいの程度に応じた適正な特別支援教育を推進します。

- ・さまざまな実態に即した適切な就学指導の推進を図るとともに、個別の指導計画を作成するなど特別支援教育の充実を図ります。また、障がいについての正しい理解や障がいのある人々に対する共生の意識を培うための指導や啓発を図ります。
- ・県教委が作成した引継ぎシートの活用により、特別に支援が必要な子どもに対しての相談、支援を早期から始め、その内容や学校等での支援の記録について確実に次の校種へ引き継ぎます。
- ・県立みたけ支援学校奥中山校や児童福祉関係機関と連携を密にし、各学校の特別支援教育の支援体制を充実させます。

(2) 県立病院との委託契約による適切な検査を行います。

- ・令和4年度から実施している個別検査業務委託契約を継続して行い、公認心理士の方から個別に検査をして医学的な知見をいただく事で子どもに対しより適切な支援をすることのできる体制を構築します。

## 第5節 学校給食の充実

安全でおいしい給食を提供するため、施設の維持や必要な設備の更新を行います。また、衛生管理を徹底するとともに、食育活動を推進します。

(食育の推進)

- ・栄養教諭等による、児童・生徒及び保護者を対象とした食に関する指導を充実します。
- ・学校における食に関する学習の場を設け、食の重要性に関して児童・生徒や保護者の理解を深めるように努めます。

(学校給食の地産地消の推進)

- ・より多くの地元農畜産物の活用を図り、安全でおいしい給食の確立を図るとともに、学校給食を通して児童・生徒が地産地消についての学びの場となるよう努めます。

(食物アレルギーへの対応)

- ・食物アレルギーを持つ児童・生徒には、文部科学省・岩手県教育委員会・一戸町教育委員会のアレルギー疾患対応指針を基本に児童・生徒の安全を最優先し、代替食品や除去食等による対応を行いません。

(衛生管理の徹底)

- ・職員だけではなく、民間委託先の調理員等も、県などが行うの研修会等への参加の受講を促し、知識・技術の向上に努めます。
- ・民間委託により、HACCP（危険分析・重要管理点）の管理手法による衛生管理の徹底を図ります。

(センター施設の持続可能な運営)

- ・平成13年度に整備された調理機等の更新が引き続き必要であることから、更新計画に基づいた設備更新を継続し、安全で安心なおいしい給食を提供できるよう努めます。

## 第6節 教育に関わる経済的負担の軽減、就学援助・通学対策の充実

ほとんどの子どもが義務教育終了後に高等学校に進学し、その後も大学や専門学校に進学する割合も高くなってきたことから、親の経済的負担を減らし、子どもが自らの意志と力で大学教育等を修了できるよう、多様なニーズに応える弾力的な奨学金制度を町で検討するとともに、国、県に奨学金制度の拡充を要請します。

- (1) 経済的に就学困難な児童・生徒に対し、就学援助補助金や育英制度を活用して就学を援助し、人材の育成・確保を図ります。
  - ・町においては、既存の制度について見直しが必要かどうか検証するとともに、町の総合戦略に掲げた、国や地域に大きく貢献する有望な人材に対する新たな奨学金制度の設立について検討します。
- (2) 公共交通を利用した通学への支援や最適な交通手段の確保など、総合的な通学対策の推進を図ります。
  - ・スクールバス以外で、路線バス又は徒歩等により通学している児童生徒に対して通学費（定期券等）を支給します。
  - ・公共交通機関が無い、あるいは利便性が悪く乗車人員が少ない場合はタクシー等の利用も検討します。

## 第7節 教職員の資質の向上

教職員の研修や研究活動を奨励・支援し、その成果が学校現場に還元されるよう促します。

（「生きる力」を育む教育の研究と実践）

- ・「生きる力」を育む教育を展開するために、体験的な学習を重視した教育活動を工夫し、学習指導法や指導形態などの授業改善を行うための研修の充実を図ります。

（学校の実態を生かした教育の充実）

- ・学校の規模や児童生徒数などの実態に即した教育内容や指導方法を工夫し、児童生徒が主体的に学習できるようにします。
- ・学校の規模に応じたそれぞれのよさを学習指導法に生かし、児童生徒に基礎的・基本的な内容が定着できるように工夫・改善を図ります。

（教員研修の充実）

- ・人間の成長発達や人間形成に関する共通理解を深め、指導の継承と一貫性をふ

まえた教育を推進するために、保育施設と小学校、小学校と中学校、中学校と高等学校など、各校種間の連携を密にした研修を充実させます。

- ・研究指定による学校公開研究会と町教育研究会との連動を図るなど研修の機会と場の見直しを進め、体系的で実のある研修を推進します。
- ・その他各種センター事業により、教員の指導力の育成を図り、一戸町の教育水準の向上に資するようにします。

## 第8節 県立学校との連携強化と学びの分野の拡充

県立一戸高等学校及び県立盛岡みたけ支援学校奥中山校との連携を強化し、地域社会との交流活動の一層の活発化を図ります。

- ・奥中山小学校及び奥中山中学校では、みたけ支援学校奥中山校と合同で運動会、体育祭、学習発表会、文化祭を開催し交流を図っており今後も継続します。
- ・一戸高校については、中高生海外派遣事業に参加してもらっており今後も継続します。

## 第9節 いじめ、不登校等への対応の充実

いじめや不登校など、多様化、複雑化する子どもの問題行動に対応するため、家庭、地域、関係機関との連携協力のもと実態把握や解決支援にあたります。

また、思春期の心の動きは繊細であり、すべての子どもが環境の変化によっては問題行動を取る可能性があるところから、教育委員会では、スクールカウンセラーの配置や福祉部と連携した支援会議を実施するなど、子ども一人ひとりの心の問題に対応する指導体制を強化するとともに、このような問題が発生した時には、該当校への電話や面談、必要に応じて家庭訪問により、実態把握し問題の早期解決に努めます。

- ・「いじめ防止基本方針」のもと設置した「いじめ対策連絡協議会」の開催により、いじめの未然防止や早期発見に努めます。
- ・児童生徒の健全育成のため、「学校警察連絡協議会」を開催し、町内の小・中学校・高等学校が生徒指導について相互に綿密な連携を図るとともに、関係諸機関等と連携を密にし、生徒指導の充実に資するようにします。
- ・全児童生徒を対象とした生活アンケートや小学校4年生以上の児童生徒を対象とした「学級生活満足度調査（Q-U）」を年2回実施し、問題がある場合は迅速に対応します。

## 第3章 青少年の健全育成

### 第1節 活動支援の人材養成

地域の指導者や青少年団体のリーダー、ボランティア活動のリーダーの発掘・養成を図ります。

- ・地域で活躍する中高校生の養成に向けて、県主催のいわて希望塾や県子連主催のジュニアリーダー大会等への参加を促すとともに、それらの参加者同士の交流や、子どもを対象とした行事に関わる機会を設けることで、活動の魅力等の周知に努めます。

### 第2節 子ども行事の活性化

地域の連帯意識を育て、学年が異なる子どもが校外における様々な遊びを通じ、健やかに成長することを目的に、多くの子どもたちが参加しやすい行事のあり方を検討します。

- ・各種団体と連携を図りながら、子どもたちが参加しやすい行事の開催に努めます。
- ・放課後子ども教室を開設し、放課後等の子どもたちの安全・安心な居場所づくりに努めるとともに、さまざまな体験活動や地域住民との交流活動を推進します。

### 第3節 健全な社会環境づくりの推進

青少年の健全な育成に向けた各種の活動を地域ぐるみで推進できるよう取り組みます。

- ・5者（子ども、学校、家庭、地域、行政）が連携して取り組んできた教育振興運動の取り組みを進め、地域全体で子どもを育む環境づくりに努めます。
- ・地域学校協働本部事業の実施により、地域と学校が一体となり地域課題・青少年の育成・社会教育活動等に取り組む「学校を核とした地域づくり」を支援します。

## 第4章 スポーツの推進

### 第1節 スポーツ団体の育成および指導者の確保

各種スポーツにおける団体の維持と競技力の向上のため、各種研修会等への参加を支援しながら、若年層の競技継続を促します。

- ・スポーツ団体の指導者や審判員等の人材育成を図るための各種研修会への参加の奨励や、優秀な成績者への一戸町スポーツ賞の授与により、特に若年層の競技継続を促します。

- ・町技であるなぎなたの普及や指導者確保を図るため、町主催大会の開催や、各種研修会等への参加を支援します。
- ・競技力向上を図るために上位大会等への参加に対して支援します。

## 第2節 スポーツ・レクリエーション実践活動の促進

それぞれの志向やレベルに合わせた体力づくりによる町民の健康増進を図るため、総合型地域スポーツクラブの活動や、NPO等が主催する大会や教室等への参加を促進します。

- ・総合型地域スポーツクラブや地区スポーツ振興会の活動、町内で開催される各種大会や健康づくり教室等への参加を促進します。
- ・スポーツへの関心が低い層への動機付けとなる方策を検討します。

## 第3節 スポーツ交流の促進

スポーツを通じた町内外との交流活動の推進と、総合運動公園や武道場への大学高校等の合宿誘致により、地元競技団体との交流と競技力向上を図ります。

- ・スポーツ合宿誘致に向けた相談会への参加やインターネット等を通して、大学や実業団への情報発信に努めます。
- ・障がい者スポーツへの協力を進め、スポーツ交流を推進します。

## 第4節 スポーツ施設の整備

総合運動公園や武道場等の体育施設の適切な維持管理を進め、競技技術の向上に寄与する環境づくりを行います。

- ・総合運動公園等の体育施設の大規模修繕の必要が生じている施設について、優先順位に則って計画的に改修を進めて行きます。
- ・総合運動公園施設の管理運営を指定管理者が行うことで、利用者へのサービス向上を図ります。

## 第5章 世界遺産「御所野遺跡」を守り伝えるまちづくりの推進

### 第1節 次代への継承

- (1) 構成資産及び緩衝地帯を保全するため、北海道・北東北の縄文遺跡群包括的保存管理計画に基づき、4道県13市町と連携して経過観察を行います。
  - ・構成資産範囲、緩衝地帯及び緩衝地帯の近辺で行われる開発行為等を確認し、遺産の普遍的価値に及ぶ影響の評価を行います。
- (2) 遺産周辺の景観を守りその魅力を一層高めるため、一戸町景観計画に基づく景観形成を進めるとともに、縄文時代の景観復元を目的とした「縄文里山づくり」を推進します。
  - ・世界文化遺産景観形成支援事業補助金により緩衝地帯における建築物の修景を図ります。
  - ・縄文里山づくり事業により公園内に利用可能な植物の植栽や育成を行い、縄文時代の景観形成を進めます。
- (3) 御所野遺跡を将来へ守り伝えていくために、地域住民や児童生徒、ボランティアなど多様な担い手の参加による保存管理を進めます。
  - ・御所野遺跡に関わるボランティア団体の活動を支援します。
  - ・御所野縄文公園クリーンデーなど一般の方が参加しやすいボランティア活動の機会を提供し、町内外の方々の参画を促します。

### 第2節 世界遺産としての価値の理解促進

- (1) 大学や研究機関等と連携して調査研究を進め、その成果を広く情報発信します。
  - ・所蔵資料の調査を進めるとともに、研究機関の実施する縄文時代の植物利用などの各種研究に協力し、縄文文化の探求を行います。
  - ・調査成果発表会を開催し、御所野遺跡や町内の文化財に関する調査研究の成果を報告します。
- (2) 学校教育や生涯学習を通じて御所野遺跡の価値を伝え、郷土に対する誇りを育みます。
  - ・町内小中学校におけるいちのへ御所野縄文学や地区センター主催町民セミナー等において、御所野遺跡の価値を伝えます。
- (3) 遺跡の景観に配慮しつつその価値を入館者等へ分かりやすく伝えるために、ボランティアガイドを養成するとともにICT技術を活用した遺跡ガイドアプリを活用します。
  - ・来訪者への説明を行う人材を育てるため、ボランティアガイド養成講座を開催します。

- ・遺跡ガイドアプリを活用し、多言語での情報提供を行います。
- (4) 御所野遺跡及び縄文文化について多様な側面からの理解促進を図るため、御所野縄文公園において各種体験学習やイベントを開催します。
- ・「まるっと里山プログラム」や「ごしょの de 学びプログラム」など多様な体験プログラムを提供します。

### 第3節 新たな交流・産業の創出

- (1) 縄文遺跡群を構成する13市町との交流を深めるとともに、県内三つの世界遺産や県北広域振興圏市町村との交流連携を進めます。
- ・岩手県を中心に県内三つの世界遺産で連携して共同事業を実施します。
  - ・県北広域振興局と連携して、御所野縄文 WEEK やスタンプラリーなどの事業を実施します。
- (2) 御所野遺跡に興味を持つ人又は関わろうとする人を増やすため、SNSを活用した交流を推進します。
- ・SNSを活用し、御所野縄文公園の風景やイベントなどの情報を随時発信します。
- (3) 新たな産業創出のため、民間事業者による世界遺産を活用した取組を支援します。
- ・民間事業者による御所野縄文公園の活用を推進します。
  - ・商品開発や町のにぎわい創出のため、ごしょどん・ごしょたんのデザイン使用及び着ぐるみの貸出を行います。

## 第6章 歴史文化の継承と創造

### 第1節 文化財の調査・保護

- (1) 町内の貴重な文化財を守り伝えるため、指定文化財の保護、未指定文化財の調査を行い、必要に応じて指定します。
  - ・未指定文化財の調査を進めます。
  - ・開発行為等に際しては、埋蔵文化財の有無を確認し必要に応じて調査を行います。
- (2) 地域特有の歴史文化の伝承のため、関連する文化財群の一体的な保存管理に取り組みます。
  - ・文化財保存活用地域計画の策定に向けて情報収集を進めます。
- (3) 無形民俗文化財の伝承及び後継者育成のために、伝承活動の支援と発表の機会のさらなる創出を行います。
  - ・各団体の活動を支援するため、一戸町無形民俗文化財保存事業により補助金を交付します。
  - ・一戸町郷土芸能保存協議会と共同で一戸町郷土芸能祭や神楽公開を開催するほか、他団体主催の催しに町の郷土芸能団体を推薦し、発表の機会を創出します。

### 第2節 重要文化財旧朴館家住宅の保存修理とまちづくり

- (1) 築160年を経過した「旧朴館家住宅」を将来にわたり継承するため、建築年代の調査等と合わせて根本修理を実施します。
  - ・早急に老朽化対策を実施するため、国庫補助事業採択を目指します。
  - ・修理にあたって必要な事項を検討するため、建築学の専門家等で構成する旧朴館家住宅保存修理委員会を開催します。
- (2) 「旧朴館家住宅」を活用したまちづくりへ繋げるために、地域住民等との連携を図り、活用策を検討します。
  - ・朴館家住宅保存会や地元町内会と連携し維持管理を行うとともに、新たな活用策等の意見交換を行います。

### 第3節 文化財愛護の機運向上

郷土の歴史に対する理解と文化財愛護の機運を高めるために、調査成果の報告や講演会の開催など歴史文化に触れる機会を提供するとともに、地域の文化財を保護するための活動を奨励します。

- ・広報誌やホームページを活用し、広く歴史文化に触れる機会を創出します。

- ・町内各地区の遺跡や文化財を紹介する企画展を開催します。
- ・文化財の保護や活用を目的とした地域活動を支援します。

#### **第4節 芸術文化の振興**

各芸術文化活動団体の指導者の確保や育成を支援するために、各種研修会等への参加を促します。

NPOと連携し、芸術文化の場として施設の利用促進を図りながら、多様な芸術文化に接する機会を提供するとともに、各団体の自主的な発表会などの活動を促進します。

- ・各団体の自主的な発表の機会を支援するほか、活動内容の周知により会員確保への取組を支援します。
- ・町出身芸術家の作品展や、コミュニティセンターロビー等を活用した定期的な作品展を行うほか、町内の学校や各施設へ出向いて行う事業も積極的に取り入れ、芸術文化に接する機会拡充に努めます。
- ・指定管理者によるコミュニティセンター・図書館の管理運営を行ない、施設の利用促進を図ります。

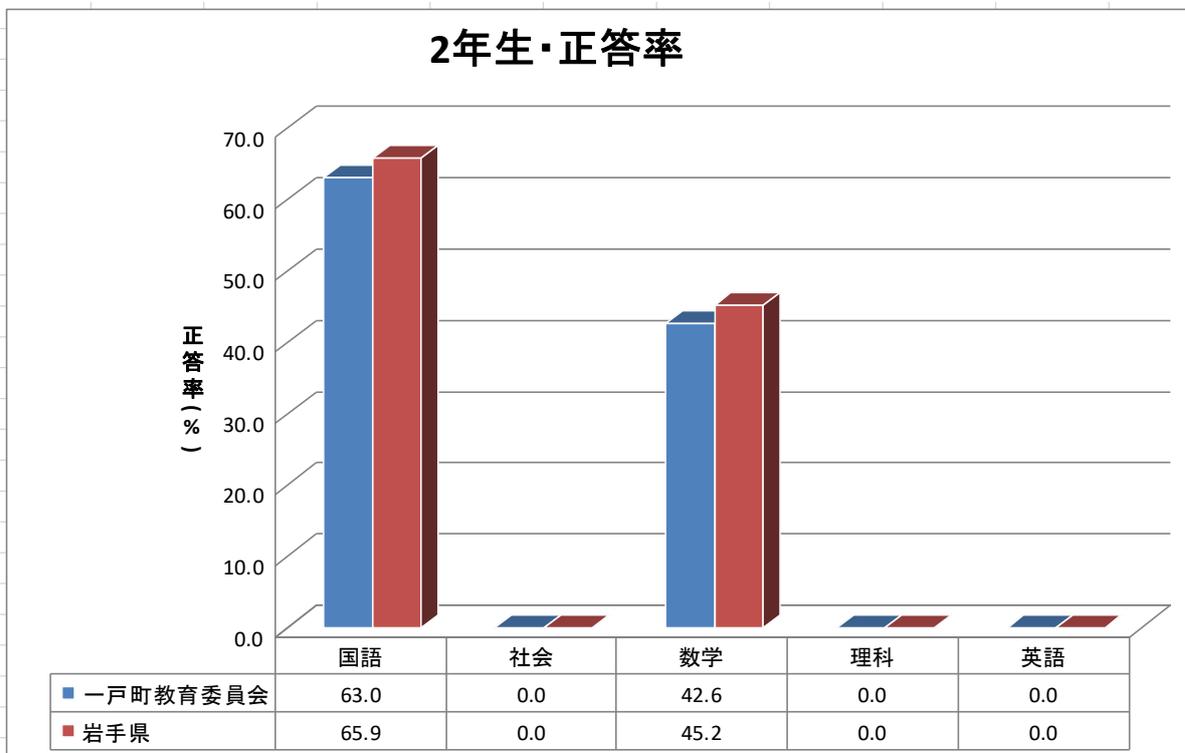
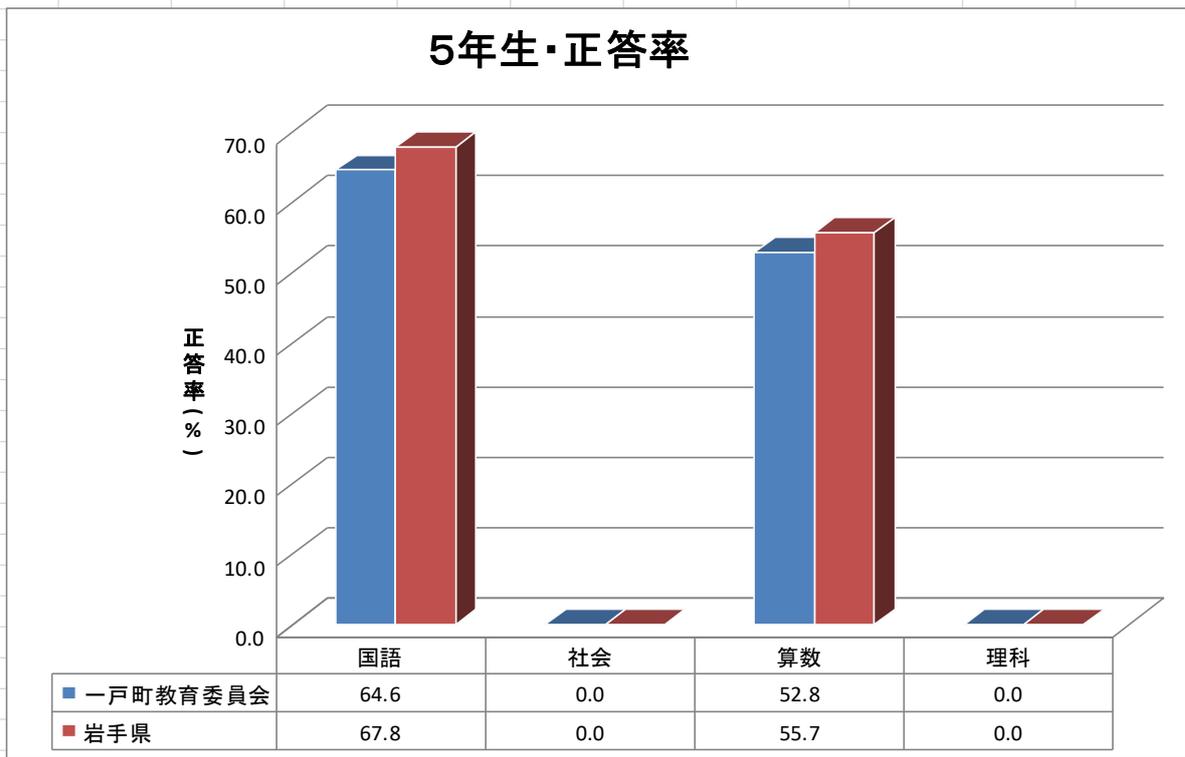
## 第7章 第10次一戸町教育振興基本計画 主要事業計画

事業名	事業概要	備考
いちのへ町民セミナー	各地区センター等において、多様な学習プログラムの提供	第1章1節
コミュニティセンター・図書館指定管理	施設の管理運営及び読書推進事業・芸術文化事業の委託	第1章第3節
	学校図書館との連携による子どもの読書活動の推進	第2章第2節
学校施設等改築・改修事業	鳥海小学校屋根等改修工事設計業務委託	第2章第1節
	鳥海小学校屋根等改修工事	第2章第1節
廃校処分事業	旧姉帯小学校解体工事	第2章第1節
	旧平糠小中学校解体工事	第2章第1節
小中学校教材整備事業	小中学校の教材整備促進事業	第2章第1節
小中学校理科設備整備事業	小中学校の理科設備整備事業	第2章第1節
学力向上推進事業	小中学校の学力向上の推進	第2章第2節
教育相談	児童生徒に関する教育相談	第2章第3節
就学援助事業	就学に困難をきたす児童生徒の支援事業	第2章第6節
遠距離通学費補助事業	児童生徒の遠距離通学に対する支援	第2章第6節
青少年対策事業	リーダー養成のための研修会派遣等	第3章第1節
放課後子ども教室	放課後の安心安全に過ごせる場所の確保	第3章第2節
地域学校協働本部事業	学校と地域住民の連携協働による教育活動等の実施	第3章第3節
各種大会開催事業	各種スポーツ大会の開催	第4章第2節
総合運動公園指定管理	体力づくり教室等の委託	第4章第2節
	施設の管理運営	第4章第4節
御所野遺跡保存整備事業	御所野遺跡の史跡公園整備	第5章第3節
町内遺跡発掘調査事業	文化財の発掘調査・保存	第6章第1節
旧朴館家住宅保存修理事業	旧朴館家住宅の保存修理	第6章第2節
埋蔵文化財活用事業	埋蔵文化財の活用・整理	第6章第4節

## 資料編 目次

○令和4年度岩手県小・中学校学習定着度状況調査の結果	22
○令和4年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙調査の主な結果	25
○幼稚園、小学校及び中学校の数的状況の推移	32
○令和4年度一戸町小中学校体位測定結果（体位平均値）	33
○令和4年度小中学校肥満度・視力測定結果	34
○令和4年度岩手県体力・運動能力調査結果（小学校男子）	35
○令和4年度岩手県体力・運動能力調査結果（小学校女子）	36
○令和4年度岩手県体力・運動能力調査結果（中学校男子）	37
○令和4年度岩手県体力・運動能力調査結果（中学校女子）	37
○一戸町内小中学校事故種類別状況	38
○一戸町内小中学校時間帯・曜日別事故発生状況	38
○一戸町自治公民館一覧	39
○一戸町地域婦人団体協議会	40
○一戸町文化協会所属部会一覧	41
○一戸町体育協会	42
○一戸町スポーツ少年団	43
○一戸町子ども会育成連絡協議会	44
○一戸町内の指定文化財等一覧	45

令和4年度岩手県小・中学校学習定着度状況調査の結果



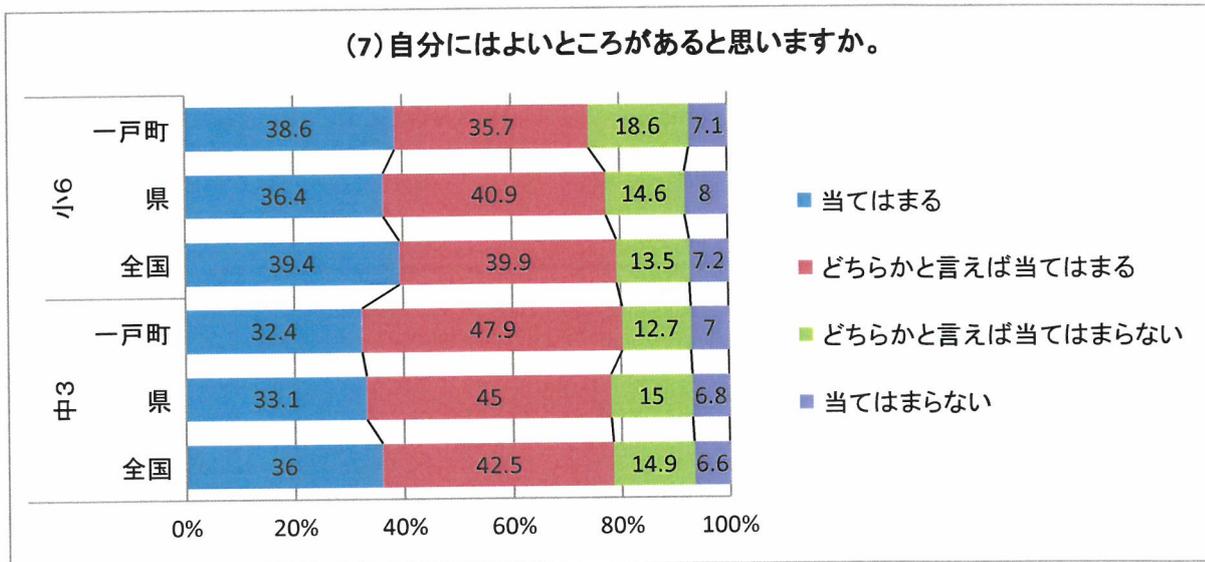




【自尊感情】

質問番号(7) 自分には、よいところがあると思いますか。

		当てはまる	どちらかと言えば 当てはまる	どちらかと言えば 当てはまらない	当てはまらない
		74.3		25.7	
小6	一戸町	38.6	35.7	18.6	7.1
	県	36.4	40.9	14.6	8.0
	全国	39.4	39.9	13.5	7.2
		79.3		20.7	
中3	一戸町	32.4	47.9	12.7	7.0
	県	33.1	45.0	15.0	6.8
	全国	36.0	42.5	14.9	6.6
		78.5		21.5	



小6では「当てはまる」「どちらかというとなてはまる」の肯定的回答を見ると、県、全国とも一戸町はやや下回るものの同程度である。否定的な回答している児童の割合が全体の4分の1程度となっている。当該児童の意識を把握し、適切な働きかけしたり、様々な場面で児童のよさや頑張りを認める機会を増やしたりしていきたい。

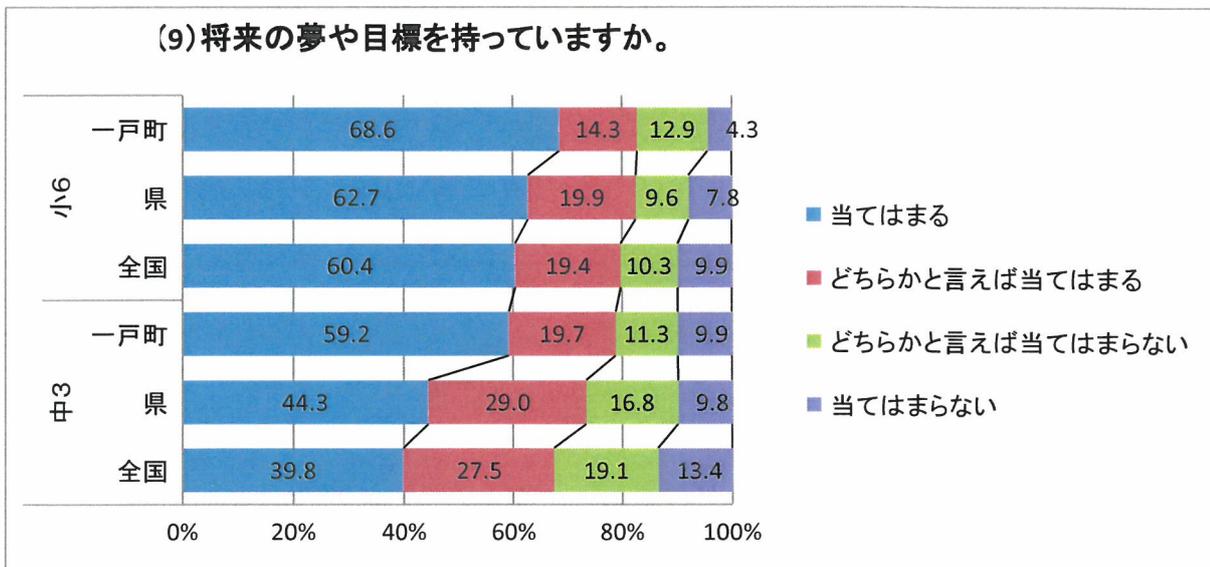
中3では、積極的の回答が全国・県をやや上回るものこちら同程度である。否定的回答をしている生徒の割合が全体の5分の1となっている。発達段階に応じた意識付け等を図りたい。

「(10) 自分でできたことは、やり遂げようとしてる」、「(12) 人が困っているときは、進んで助けている」といった挑戦心と思いやりに関する積極的の回答は小・中学校ともに全国、県を上回っている。児童生徒主体の活動の中で、友達同士でよさを認めるとともにたくさん挑戦を行いながら成功体験を実感させ、自己有用感等を育むことを大切にしたい。

【自尊感情】

質問番号(9) 将来の夢や目標を持っていますか。

		当てはまる	どちらかと言えば 当てはまる	どちらかと言えば 当てはまらない	当てはまらない
小6	一戸町	68.6	14.3	12.9	4.3
		82.9		17.2	
	県	62.7	19.9	9.6	7.8
		82.6		17.4	
	全国	60.4	19.4	10.3	9.9
		79.8		20.2	
中3	一戸町	59.2	19.7	11.3	9.9
		78.9		21.2	
	県	44.3	29.0	16.8	9.8
		73.3		26.6	
	全国	39.8	27.5	19.1	13.4
		67.3		32.5	



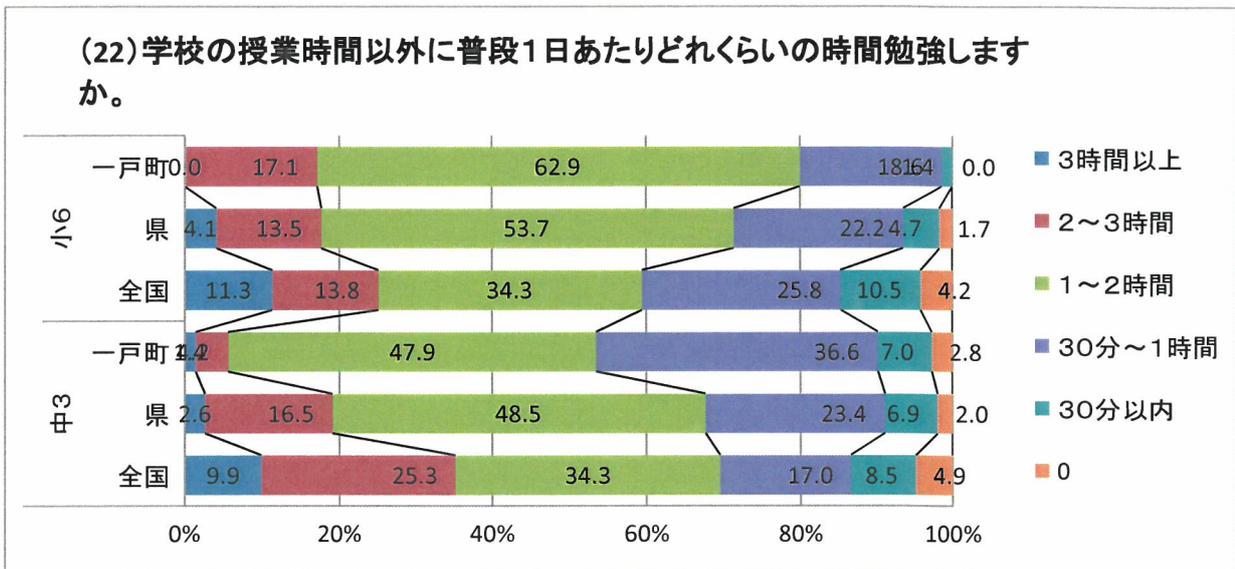
小6は、「当てはまる」「どちらかというとなてはまる」の肯定的回答が全国・県を大きく上回っている。また中3でも、肯定的回答で全国・県を上回った。また、「(15)人の役に立つ人間になりたいと思う」、「(11)難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦する」でも、小・中学校ともに肯定的回答が、全国・県を上回っている。各校のキャリア教育の充実により、児童生徒自身が自分の生き方や将来について考える機会が増えてきていると考えられる。

ただし、否定的回答をした児童生徒がいることにも問題意識をもち、短いスパンでの目標設定、振り返りを行うのサイクルを組む等して成功体験の数を増やして、将来についての目標や希望を抱くように対策をしたい。

【学習時間・学習習慣】

質問番号 (22) 学校の授業時間以外に普段1日あたりどれくらいの時間勉強しますか。

		3時間以上	2～3時間	1～2時間	30分～1時間	30分以内	0分
小6	一戸町	0.0	17.1	62.9	18.6	1.4	0.0
		17.1		81.5		1.4	
	県	4.1	13.5	53.7	22.2	4.7	1.7
		17.6		75.9		6.4	
全国	11.3	13.8	34.3	25.8	10.5	4.2	
	25.1		60.1		14.7		
中3	一戸町	1.4	4.2	47.9	36.6	7.0	2.8
		5.6		84.5		9.8	
	県	2.6	16.5	48.5	23.4	6.9	2.0
		19.1		71.9		8.9	
全国	9.9	25.3	34.3	17.0	8.5	4.9	
	35.2		51.3		13.4		



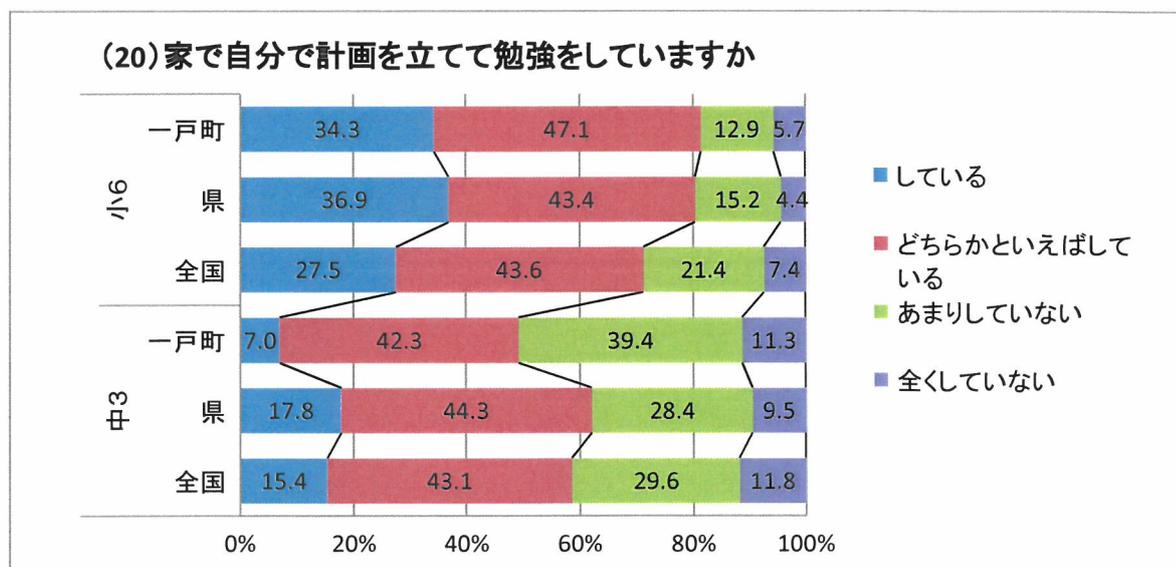
小6は、学校以外での学習時間が「1～3時間」と回答した児童の割合が80%で全国・県よりも多く、また、0分の児童はいないことから、家庭学習に取り組む習慣がついていると考えられる。

中3は、半数以上の生徒が「1時間以上」と回答したものの、「30分～1時間」に留まっている生徒の割合は36.6%と県や全国と比較しても高い。限られた時間の中での学習時間の確保が必要になる中学校生活では、計画的に進める指導を行いつつ、家庭の理解や協力を得ながら取り組んでいきたい。

【学習時間・学習習慣】

質問番号(20) 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。

		している	どちらかといえば している	どちらかといえば していない	全くしていない
小6	一戸町	34.3	47.1	12.9	5.7
		81.4		18.6	
	県	36.9	43.4	15.2	4.4
		80.3		19.6	
全国	27.5	43.6	21.4	7.4	
	71.1		28.8		
中3	一戸町	7.0	42.3	39.4	11.3
		49.3		50.7	
	県	17.8	44.3	28.4	9.5
		62.1		37.9	
全国	15.4	43.1	29.6	11.8	
	58.5		41.4		



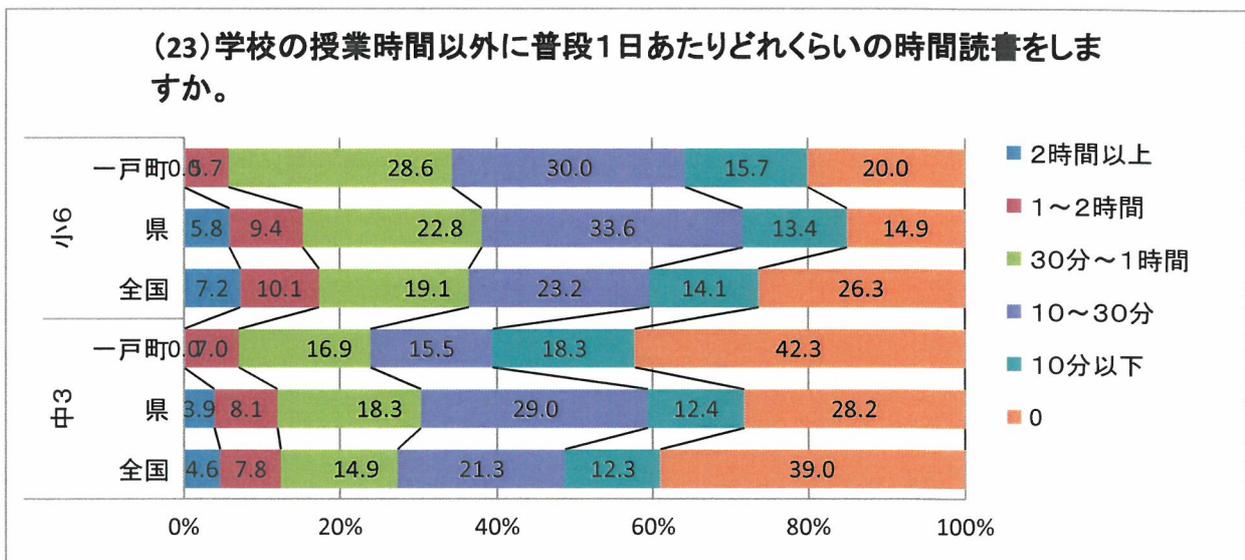
小6は「している」「どちらかといえばしている」の肯定的な回答が全体の約8割で、県と同程度の実態にある。多くの児童が自分で家庭学習計画を立てながら取り組んでいると言える。

中3は、肯定的な回答が全国・県より下回っている。学習そのものには取り組んでいると考えられるが、目的意識が低かったり、どのように進めてよいか迷っていたりすることが心配される。学校で生徒の家庭学習の目標・課題を設定したり、その日の家庭学習の計画を具体化する等、生徒が迷いなく進めるような手立てを組むことが必要になってくる。

【読書時間】

質問番号(23)学校の授業時間以外に普段1日あたりどれくらいの時間読書を行いますか。

		3時間以上	2～3時間	1～2時間	30分～1時間	30分以内	0分
小6	一戸町	0.0	5.7	28.6	30.0	15.7	20.0
		5.7		58.6		35.7	
	県	5.8	9.4	22.8	33.6	13.4	14.9
		15.2		56.4		28.3	
	全国	7.2	10.1	19.1	23.2	14.1	26.3
		17.3		42.3		40.4	
中3	一戸町	0.0	7.0	16.9	15.5	18.3	42.3
		7.0		32.4		60.6	
	県	3.9	8.1	18.3	29.0	12.4	28.2
		12.0		47.3		40.6	
	全国	4.6	7.8	14.9	21.3	12.3	39.0
		12.4		36.2		51.3	



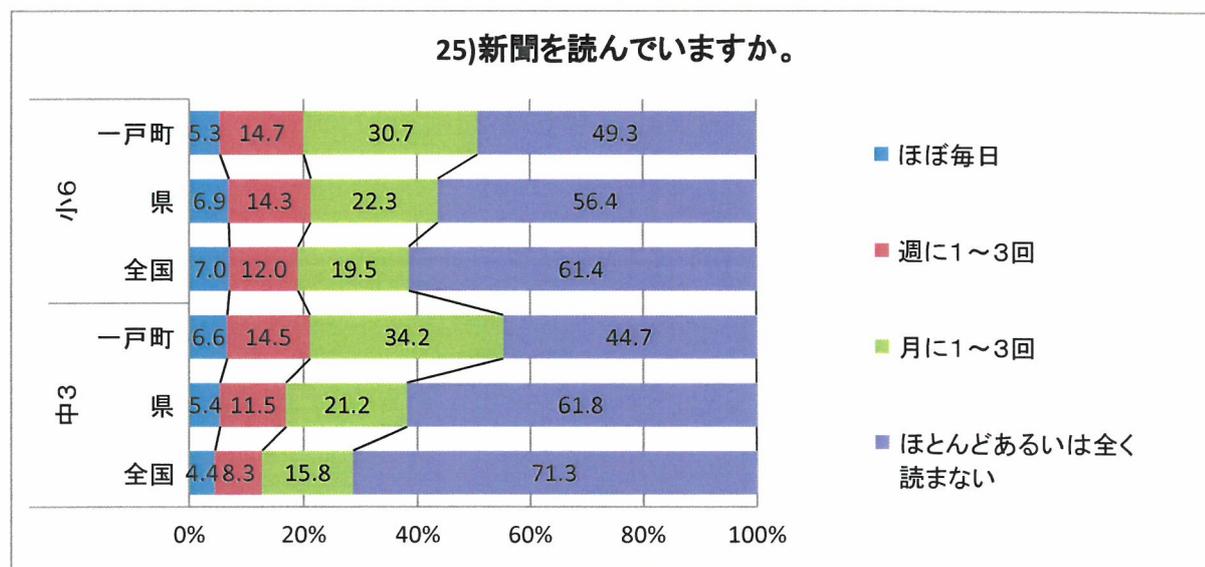
小6、中3ともに「30分以上」で見るとは全国・県を上回っている。読書の習慣が身に付きつつある児童生徒がいる一方で、小6では約2割、中3では約4割の児童生徒が0分と回答している。昨年度は、小6が1割、中3が2割だったことから考えても、まずは短い時間からでも授業時間以外での読書の取組が急務である。

全国・県と同様に、中学校では、小学校よりも読書時間が減少している傾向にある。多忙な中学校生活の中で何とか時間をやりくりしている様子も窺えるが、小学校で読書の楽しさを味わわせ、中学校には、短い時間でも読書に親しめるような手立てや声掛けが必要である。

【地域・社会への関心等】

質問番号(25)新聞を読んでいますか。

		ほぼ毎日	週1～3回	月1～3回	ほとんどまたは全く読まない
小6	一戸町	5.3	14.7	30.7	49.3
		50.7			49.3
	県	6.9	14.3	22.3	56.4
		43.5			56.4
	全国	7.0	12.0	19.5	61.4
		38.5			61.4
中3	一戸町	6.6	14.5	34.2	44.7
		55.3			44.7
	県	5.4	11.5	21.2	61.8
		38.1			61.8
	全国	4.4	8.3	15.8	71.3
		28.5			71.3

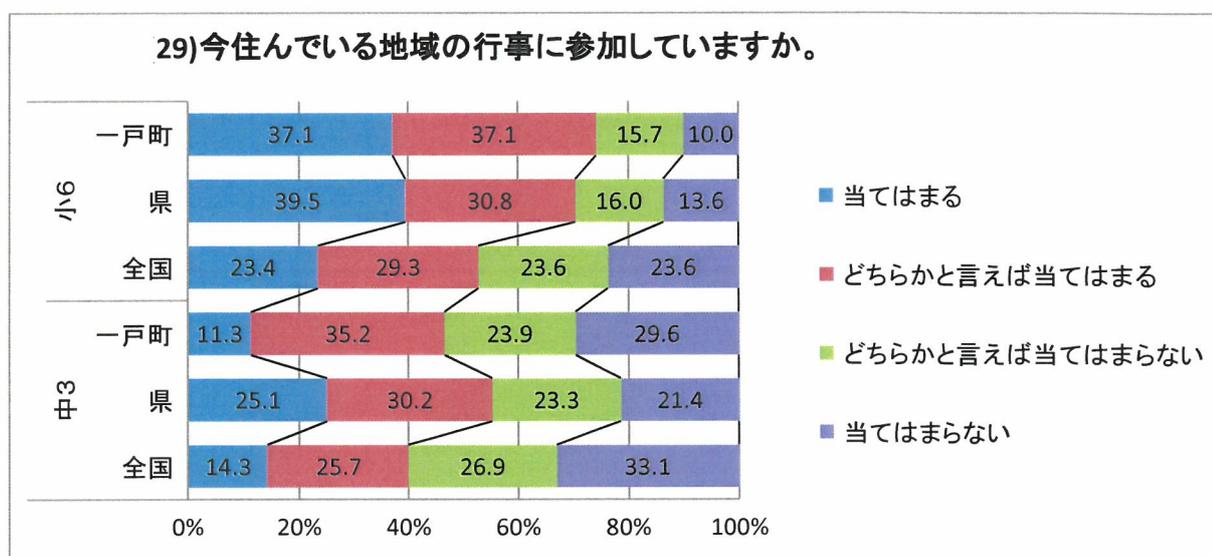


小6、中3ともに「ほとんどあるいは全く読まない」と回答した児童生徒の割合が全国、県を下回っていることから、中学校への新聞の配架や学校図書館司書の取組の成果が窺える。しかし数値そのものを見ると児童生徒の半数近くが「ほとんど読んでいない」と回答している。テレビやインターネットから情報を得る家庭が増えていることも原因として考えられるが、司書教諭と連携したり、授業に新聞を取り入れたりして児童・生徒が新聞に触れさせる機会を増やしていくことが求められる。

【地域連携・参画意識】

質問番号 (29) 今住んでいる地域の行事に参加していますか。

		当てはまる	どちらかと言えば 当てはまる	どちらかと言えば 当てはまらない	当てはまらない
小6	一戸町	37.1	37.1	15.7	10.0
		74.2		25.7	
	県	39.5	30.8	16.0	13.6
		70.3		29.6	
	全国	23.4	29.3	23.6	23.6
		52.7		47.2	
中3	一戸町	11.3	35.2	23.9	29.6
		46.5		53.5	
	県	25.1	30.2	23.3	21.4
		55.3		44.7	
	全国	14.3	25.7	26.9	33.1
		40.0		60.0	



小6で肯定的回答が県を下回っているものの、小・中学校ともに、肯定的な回答が全国を上回っている。一戸祭りの中止等、新型コロナウイルス感染症の影響もあると思われるが、概ね望ましい傾向であると捉える。

「(25)「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがあるか」にかかわり、地域行事参加への目的意識と主体的な参画意識を育む工夫を継続して行っていきたい。

## 幼稚園、小学校及び中学校の数的状況の推移

### 幼稚園

	園数	学級数	園児数	職員数	1学級あたり 園児数	教員1人あたり 園児数
平成30年度	1	3	23	4	7.66	5.75
令和元年度	1	3	17	3	5.66	5.66
令和2年度	1	2	5	2	2.50	2.50
令和3年度	閉園					
令和4年度						

### 小学校

	学校数	学級数	児童数	職員数	1学級あたり 児童数	教員1人あたり 児童数
平成30年度	6	32	466	56	14.56	8.32
令和元年度	6	32	460	55	14.37	8.36
令和2年度	6	36	465	62	12.91	7.50
令和3年度	6	35	436	58	12.45	7.51
令和4年度	6	33	401	57	12.15	7.03

### 中学校

	学校数	学級数	生徒数	職員数	1学級あたり 生徒数	教員1人あたり 生徒数
平成30年度	3	13	253	30	19.46	8.43
令和元年度	3	13	254	31	19.53	8.19
令和2年度	3	13	245	30	18.84	8.16
令和3年度	3	13	239	30	18.38	7.96
令和4年度	3	11	231	27	21.00	8.55

出典 学校基本調査

注 養護分校(いずれも休校中)を含む数値

## 令和4年度一戸町小中学校体位測定結果(体位平均値)

(岩手県及び全国平均値は、令和3年度文部科学省学校保健統計速報により)

			小学校						中学校		
			1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年
身長	男子	一戸町	118.3	122.9	128.8	132.7	139.4	145.6	156.5	158.2	167.2
		岩手県	117.1	123.2	129.2	134.2	139.8	147.2	153.6	160.5	166.2
		全国	116.7	122.6	128.3	133.8	139.3	145.9	153.6	160.6	165.7
	女子	一戸町	114.6	121.7	128.9	134.5	142.5	147.3	154.6	152.9	157.8
		岩手県	116.8	122.5	128.1	134.7	142.0	147.9	152.1	155.4	156.5
		全国	115.8	121.8	127.6	134.1	140.9	147.3	152.1	155.0	156.5
体重	男子	一戸町	22.8	26.6	28.9	31.8	38.9	41.8	50.6	51.1	58.6
		岩手県	22.2	25.2	29.4	32.2	36.1	41.9	45.9	50.3	56.8
		全国	21.7	24.5	27.7	31.3	35.1	39.6	45.2	50.0	54.7
	女子	一戸町	21.1	23.8	28.0	34.5	37.7	38.9	47.0	49.8	51.7
		岩手県	22.2	25.0	27.3	32.0	36.6	41.3	45.5	49.1	51.6
		全国	21.2	23.9	27.0	30.6	35.0	39.8	44.4	47.6	50.0

# 令和4年度小中学校肥満度・視力測定結果

(令和4年度二戸地区養護教諭連絡協議会定期健康診断集計結果より)

項目		小学校		中学校		
		二戸管内(%)	一戸町(%)	二戸管内(%)	一戸町(%)	
肥満度	20%以下 (やせ傾向)	0.82	0.25	2.21	3.06	
	20%以上30%未満 (軽度肥満)	7.54	8.25	8.38	9.17	
	30%以上50%未満 (中等度肥満)	6.26	6.50	5.99	6.55	
	50%以上 (高度肥満)	1.08	1.00	1.75	1.31	
視力	裸眼	1.0以上 (A)	66.31	70.86	53.63	54.90
		1.0未満0.7以上 (B)	17.20	14.11	19.91	12.42
		0.7未満0.3以上 (C)	11.92	12.27	19.63	22.88
		0.3未満 (D)	4.57	2.76	6.83	9.80
	矯正	1.0以上 (A)	15.85	13.51	27.03	17.33
		1.0未満0.7以上 (B)	29.06	28.38	33.86	29.33
		0.7未満0.3以上 (C)	41.51	50.00	35.17	46.67
		0.3未満 (D)	13.58	8.11	3.94	6.67

令和4年度岩手県体力・運動能力等調査 集計表(小学校男子)

男子	握力 (kg)		上体起こし (回)		長座体前屈 (cm)		反復横とび (点)		20mシャトルラン (回)		50m走 (秒)		立ち幅とび (cm)		70mボール投げ (m)		合計点 (平均)					総合評価				
	実施者数	記録合計	実施者数	記録合計	実施者数	記録合計	実施者数	記録合計	実施者数	記録合計	実施者数	記録合計	実施者数	記録合計	実施者数	記録合計	人数	割合	A	B	C	D	E			
1 学年	学校合計	183	223	19	545	19	529	19	428	19	214.6	19	2236	19	137	19	33.7	36.8%	7	2	6	3	1			
	学校平均	9.63	11.74	28.68	27.84	22.53	27.84	22.53	117.68	11.29	7.21	117.68	7.21	7.21	7.21	33.7	36.8%	7	2	6	3	1				
	R2全国平均	9.73	12.31	27.28	28.79	19.37	28.79	19.37	19.37	11.31	8.76	116.08	8.76	8.76	8.76	19	10.5%	10.5%	31.6%	15.8%	5.3%					
	R3県平均	9.14	11.79	26.28	27.40	19.43	27.40	19.43	19.43	11.73	8.29	113.45	8.29	8.29	8.29	640	10.3%	10.3%	37.9%	37.9%	3.4%	10.3%				
	全国比	98.99	95.34	105.15	96.71	116.29	96.71	116.29	116.29	100.13	82.31	101.38	82.31	82.31	82.31	640	10.3%	10.3%	37.9%	37.9%	3.4%	10.3%				
2 学年	学校合計	302	441	29	894	29	937	29	933	29	317.7	29	3671	29	358	29	39.7	10.3%	3	11	11	1	3			
	学校平均	10.41	15.21	30.83	32.31	32.17	32.31	32.17	32.17	10.96	12.34	126.59	12.34	12.34	12.34	39.7	10.3%	3	11	11	1	3				
	R2全国平均	11.12	14.16	28.91	32.50	29.91	32.50	29.91	29.91	10.65	11.79	128.87	11.79	11.79	11.79	29	25.0%	25.0%	33.3%	25.0%	6.3%					
	R3県平均	10.83	14.03	27.15	31.43	29.49	31.43	29.49	29.49	10.79	11.77	125.02	11.77	11.77	11.77	48	10.4%	10.4%	25.0%	33.3%	25.0%	6.3%				
	全国比	93.65	107.39	106.63	99.42	107.56	99.42	107.56	107.56	97.13	104.71	98.23	104.71	104.71	104.71	1151	10.4%	10.4%	25.0%	33.3%	25.0%	6.3%				
3 学年	学校合計	586	680	48	1410	48	1609	48	2079	48	490.5	48	6703	48	721	48	42.7	24.0%	5	12	16	12	3			
	学校平均	12.21	14.17	29.38	33.52	43.31	33.52	43.31	43.31	10.22	15.02	139.65	15.02	15.02	15.02	48	24.0%	24.0%	34.0%	26.0%	8.0%	8.0%				
	R2全国平均	13.06	16.21	29.98	36.12	37.03	36.12	37.03	37.03	9.95	15.79	138.60	15.79	15.79	15.79	48	10.3%	10.3%	37.9%	37.9%	3.4%	10.3%				
	R3県平均	12.67	15.73	29.30	34.71	36.86	34.71	36.86	36.86	10.28	15.09	134.15	15.09	15.09	15.09	2049	10.3%	10.3%	37.9%	37.9%	3.4%	10.3%				
	全国比	93.48	87.39	97.98	92.80	116.97	92.80	116.97	116.97	97.30	95.13	100.75	95.13	95.13	95.13	2049	10.3%	10.3%	37.9%	37.9%	3.4%	10.3%				
4 学年	学校合計	698	996	50	1596	50	2053	50	2619	50	488.6	50	7517	50	933	50	50.6	15.2%	5	11	12	4	1			
	学校平均	13.96	19.92	31.92	41.06	52.38	41.06	52.38	52.38	9.77	18.66	150.34	18.66	18.66	18.66	50.6	15.2%	15.2%	33.3%	36.4%	12.1%	3.0%				
	R2全国平均	14.89	18.26	32.26	39.81	45.42	39.81	45.42	45.42	9.61	19.83	148.84	19.83	19.83	19.83	50	24.0%	24.0%	34.0%	26.0%	8.0%	8.0%				
	R3県平均	14.52	17.83	30.80	38.83	44.01	38.83	44.01	44.01	9.88	18.66	142.62	18.66	18.66	18.66	50	10.3%	10.3%	37.9%	37.9%	3.4%	10.3%				
	全国比	93.75	109.09	98.95	103.14	115.32	103.14	115.32	115.32	98.31	94.10	101.01	94.10	94.10	94.10	2529	15.2%	15.2%	33.3%	36.4%	12.1%	3.0%				
5 学年	学校合計	582	683	33	1108	33	1547	33	2307	33	300.7	33	5388	33	846	33	55.1	17.1%	6	14	12	1	2			
	学校平均	17.64	20.70	33.58	46.88	69.91	46.88	69.91	69.91	9.11	25.64	163.27	25.64	25.64	25.64	55.1	17.1%	17.1%	40.0%	34.3%	2.9%	5.7%				
	R2全国平均	17.48	20.75	34.09	44.40	53.60	44.40	53.60	53.60	9.15	23.12	156.87	23.12	23.12	23.12	33	10.3%	10.3%	37.9%	37.9%	3.4%	10.3%				
	R3県平均	16.71	19.29	32.73	42.76	50.60	42.76	50.60	50.60	9.52	22.37	151.63	22.37	22.37	22.37	33	10.3%	10.3%	37.9%	37.9%	3.4%	10.3%				
	全国比	100.89	99.74	98.49	105.58	130.43	105.58	130.43	130.43	100.41	110.88	104.08	110.88	110.88	110.88	1817	17.1%	17.1%	40.0%	34.3%	2.9%	5.7%				
6 学年	学校合計	758	794	35	1247	35	1716	35	2420	35	315.2	35	5960	35	1055	35	63.3	17.1%	6	14	12	1	2			
	学校平均	21.06	22.69	34.64	49.03	69.14	49.03	69.14	69.14	9.01	30.14	170.29	30.14	30.14	30.14	63.3	17.1%	17.1%	40.0%	34.3%	2.9%	5.7%				
	R2全国平均	20.42	21.38	36.02	45.87	56.54	45.87	56.54	56.54	8.91	26.61	166.85	26.61	26.61	26.61	35	10.3%	10.3%	37.9%	37.9%	3.4%	10.3%				
	R3県平均	19.79	21.28	34.83	45.75	59.28	45.75	59.28	59.28	9.10	25.70	162.71	25.70	25.70	25.70	35	10.3%	10.3%	37.9%	37.9%	3.4%	10.3%				
	全国比	103.11	106.11	96.17	106.89	122.29	106.89	122.29	122.29	98.93	113.28	102.06	113.28	113.28	113.28	2214	17.1%	17.1%	40.0%	34.3%	2.9%	5.7%				

※合計点(平均)、標本数、得点合計は8項目全て実施した児童の値であること。

令和4年度岩手県体力・運動能力等調査 集計表(小学校女子)

	女子	握力(kg)		上体起こし(回)		長座体前屈(cm)		反復横とび(点)		20mシャトルラン(回)		50m走(秒)		立ち幅とび(cm)		ソフトボール投げ(m)		合計点(平均)					総合評価					
		実施者数	26	337	26	761	26	726	26	527	26	303.4	26	2858	26	168	26	34.1	人数	A	B	C	D	E	割合			
1学年	学校合計	9.35	12.96	29.27	27.92	20.27	11.67	109.92	6.46	34.1	168	6.46	26	26	34.1	26	34.1	23.1%	6	11	8	1	0	42.3%	30.8%	3.8%	0.0%	
	学校平均	9.15	12.50	28.75	27.30	17.12	11.74	107.81	5.79	26	5.79	26	26	26	26	26	26											
	R2全国平均	8.58	11.61	28.61	26.87	17.02	11.96	107.21	5.88	26	5.88	26	26	26	26	26	26											
	R3県平均	102.14	103.69	101.81	102.28	118.40	100.60	101.96	111.60	889	111.60	889	889	889	889	889	889											
	全国比																											
2学年	学校合計	9.50	14.23	34.95	32.23	30.88	11.55	122.95	8.09	39.2	178	8.09	22	2705	22	178	39.2	27.3%	6	6	5	3	2	27.3%	27.3%	22.7%	13.6%	9.1%
	学校平均	10.47	13.65	31.42	30.53	22.91	11.06	121.75	7.67	22	7.67	22	22	22	22	22	22											
	R2全国平均	10.24	13.71	29.99	30.81	23.95	11.01	117.63	7.84	22	7.84	22	22	22	22	22	22											
	R3県平均	90.74	104.23	111.25	105.56	133.92	95.61	100.99	105.49	862	105.49	862	862	862	862	862	862											
	全国比																											
3学年	学校合計	11.06	14.18	32.18	34.50	34.38	10.63	131.00	9.18	44.3	312	9.18	34	4454	34	312	44.3	11.8%	4	9	13	7	1	11.8%	26.5%	38.2%	20.6%	2.9%
	学校平均	12.37	15.62	33.95	34.85	31.02	10.28	129.89	9.84	34	9.84	34	34	34	34	34	34											
	R2全国平均	12.06	15.74	32.53	33.97	29.77	10.51	128.11	10.01	34	10.01	34	34	34	34	34	34											
	R3県平均	89.40	90.76	94.78	99.00	110.84	96.60	100.85	100.85	1505	96.60	1505	1505	1505	1505	1505	1505											
	全国比																											
4学年	学校合計	14.16	17.00	33.44	39.19	38.54	10.34	140.04	12.31	50.2	320	12.31	26	3641	26	320	50.2	32.0%	8	6	3	3	5	32.0%	24.0%	12.0%	12.0%	20.0%
	学校平均	14.50	17.98	36.13	38.43	36.64	9.85	143.71	12.40	26	12.40	26	26	26	26	26	26											
	R2全国平均	14.08	17.24	34.67	37.62	36.19	10.05	137.94	12.26	26	12.26	26	26	26	26	26	26											
	R3県平均	97.66	94.55	92.55	101.98	105.18	95.04	97.45	99.26	1256	99.26	1256	1256	1256	1256	1256	1256											
	全国比																											
5学年	学校合計	18.00	21.09	36.34	44.91	54.63	9.54	152.13	16.47	60.9	527	16.47	32	4868	32	527	60.9	37.5%	12	9	9	2	0	37.5%	28.1%	28.1%	6.3%	0.0%
	学校平均	17.35	19.20	39.88	42.80	41.89	9.47	149.20	14.21	32	14.21	32	32	32	32	32	32											
	R2全国平均	16.62	19.10	37.10	41.49	43.11	9.68	146.41	14.76	32	14.76	32	32	32	32	32	32											
	R3県平均	103.75	109.86	91.13	104.92	130.40	99.29	101.96	115.90	1948	115.90	1948	1948	1948	1948	1948	1948											
	全国比																											
6学年	学校合計	19.79	22.11	39.79	46.39	56.29	9.41	163.68	17.63	63.7	670	17.63	38	6220	38	670	63.7	26.3%	10	14	7	5	2	26.3%	36.8%	18.4%	13.2%	5.3%
	学校平均	19.86	19.67	40.55	44.05	46.49	9.17	158.10	16.55	38	16.55	38	38	38	38	38	38											
	R2全国平均	19.41	19.63	39.43	43.60	47.31	9.35	153.58	16.68	38	16.68	38	38	38	38	38	38											
	R3県平均	99.64	112.38	98.12	105.32	121.08	97.38	103.53	106.54	2421	97.38	2421	2421	2421	2421	2421	2421											
	全国比																											

令和4年度岩手県体力・運動能力等調査 集計表(中学校男子)

男子	握力 (kg)		上体起こし (回)		長座体前屈 (cm)		反復横とび (点)		20mシャトルラン (回)		50m走 (秒)		立ち幅とび (cm)		ハンドボール投げ (m)		合計点 (平均)					総合評価				
	実施者数	配課合計	実施者数	配課合計	実施者数	配課合計	実施者数	配課合計	実施者数	配課合計	実施者数	配課合計	実施者数	配課合計	実施者数	配課合計	人数	割合	A	B	C	D	E			
学校合計	914	36	806	36	1577	36	1745	35	2106	35	310.4	36	6741	36	625	36	46.1	5.7%	2	7	12	12	2			
学校平均	25.39	kg	22.39	回	43.81	cm	49.86	点	60.17	回	8.62	秒	187.25	cm	17.36	m	35									
R2全国平均	25.19	kg	24.25	回	40.85	cm	50.49	点	69.90	回	8.50	秒	185.27	cm	18.44	m	35									
R3県平均	24.60	kg	23.35	回	41.27	cm	48.64	点	67.59	回	8.64	秒	183.38	cm	18.21	m	35									
全国比	100.79		92.33		107.24		98.75		86.08		98.57		101.07		94.15		1198									
学校合計	1067	37	984	35	1607	37	1895	35	2836	36	279.4	35	7124	35	805	35	41.9	11.4%	4	9	14	7	1			
学校平均	28.84	kg	28.11	回	43.43	cm	54.14	点	78.78	回	7.98	秒	203.54	cm	23.00	m	35									
R2全国平均	30.58	kg	27.57	回	44.99	cm	54.13	点	81.40	回	7.90	秒	203.32	cm	21.34	m	35									
R3県平均	30.18	kg	27.02	回	45.61	cm	52.54	点	83.78	回	8.00	秒	201.74	cm	21.41	m	35									
全国比	94.30		101.97		96.54		100.02		96.78		98.97		100.11		107.78		1467									
学校合計	1539	43	1336	43	1960	43	2478	43	4055	43	325.5	43	9068	43	1082	43	51.4	25.6%	11	15	11	4	2			
学校平均	35.79	kg	31.07	回	45.58	cm	57.63	点	94.30	回	7.57	秒	210.88	cm	25.16	m	43									
R2全国平均	35.35	kg	30.35	回	48.46	cm	56.95	点	91.82	回	7.45	秒	215.88	cm	24.44	m	43									
R3県平均	35.40	kg	29.53	回	49.57	cm	55.62	点	92.19	回	7.57	秒	216.17	cm	24.78	m	43									
全国比	101.25		102.37		94.06		101.19		102.70		98.41		97.69		102.96		2210									

令和4年度岩手県体力・運動能力等調査 集計表(中学校女子)

女子	握力 (kg)		上体起こし (回)		長座体前屈 (cm)		反復横とび (点)		20mシャトルラン (回)		50m走 (秒)		立ち幅とび (cm)		ハンドボール投げ (m)		合計点 (平均)					総合評価				
	実施者数	配課合計	実施者数	配課合計	実施者数	配課合計	実施者数	配課合計	実施者数	配課合計	実施者数	配課合計	実施者数	配課合計	実施者数	配課合計	人数	割合	A	B	C	D	E			
学校合計	817	37	789	37	1541	37	1699	37	1785	37	343.8	37	6119	37	411	37	43.2	27.0%	10	10	11	6	0			
学校平均	22.08	kg	21.32	回	41.65	cm	45.92	点	48.24	回	9.29	秒	165.38	cm	11.11	m	37									
R2全国平均	22.17	kg	21.32	回	43.28	cm	46.83	点	51.78	回	9.06	秒	166.70	cm	11.95	m	37									
R3県平均	21.94	kg	20.36	回	44.22	cm	45.37	点	53.62	回	9.14	秒	165.84	cm	12.01	m	37									
全国比	99.60		100.02		96.23		98.05		93.17		97.43		99.21		92.95		1599									
学校合計	1014	42	966	41	1904	42	2028	42	2339	42	375.6	42	6743	41	526	42	49.6	26.8%	11	14	12	4	0			
学校平均	24.14	kg	23.56	回	45.33	cm	48.29	点	55.69	回	8.94	秒	164.46	cm	12.52	m	41									
R2全国平均	24.17	kg	22.63	回	47.61	cm	48.57	点	58.67	回	8.79	秒	173.87	cm	13.37	m	41									
R3県平均	24.28	kg	22.88	回	47.57	cm	46.95	点	57.20	回	8.91	秒	171.32	cm	13.62	m	41									
全国比	99.89		104.11		95.22		99.41		94.92		98.27		94.59		93.67		2033									
学校合計	893	33	852	33	1609	33	1642	33	1783	32	288.8	33	5956	33	480	33	57.4	40.6%	13	11	6	1	1			
学校平均	27.06	kg	25.82	回	48.76	cm	49.76	点	55.72	回	8.75	秒	180.48	cm	14.55	m	32									
R2全国平均	25.94	kg	24.37	回	48.98	cm	49.21	点	55.60	回	8.75	秒	175.80	cm	14.47	m	32									
R3県平均	26.03	kg	24.85	回	50.92	cm	48.49	点	59.29	回	8.71	秒	175.90	cm	14.89	m	32									
全国比	104.32		105.94		99.55		101.11		100.21		100.00		102.66		100.52		1836									

## 一戸町内小中学校事故種類別状況

	小学校				中学校			
	令和3年度		令和4年度		令和3年度		令和4年度	
	発生件数	発生割合	発生件数	発生割合	発生件数	発生割合	発生件数	発生割合
骨折	2	16.67	3	27.27	2	13.33	4	18.19
挫創	1	8.33	-	-	-	-	-	-
捻挫	2	16.67	2	18.18	5	33.33	4	18.19
打撲	3	25.00	5	45.45	3	20.00	5	22.72
その他	4	33.33	1	9.09	5	33.33	9	40.90
合計	12		11		15		22	
児童・生徒数	436		402		239		230	

## 一戸町内小中学校時間帯・曜日別事故発生状況

	小学校				中学校			
	令和3年度		令和4年度		令和3年度		令和4年度	
	授業	休憩・放課後	授業	休憩・放課後	授業	休憩・放課後	授業	休憩・放課後
月	1	4	1	2	3	3	1	1
火	-	-	2	2	1	-	1	4
水	-	-	1	-	1	1	1	1
木	2	1	-	-	2	1	3	-
金	1	3	1	2	-	2	2	2
土	-	-	-	-	-	-	-	1
日	-	-	-	-	-	1	-	5
合計	4	8	5	6	7	8	8	14

# 一戸町自治公民館一覧

令和5年度

No.	館の名称	館の所在地	館長
1	小友自治公民館	小友字半在家66-5	東山 孝一
2	宇別自治公民館	宇別字椈ノ木平69	西館 忍
3	西法寺自治公民館	西法寺字西法寺4-5	野田 喜幸
4	袋町自治公民館	一戸字北館197-4	田頭 健造
5	関屋自治公民館	西法寺字関屋105-1	畑中 努
6	樋ノ口自治公民館	一戸字樋ノ口58-2	田頭 和哉
7	八木沢自治公民館	鳥越字竹林13-1	田村 利明
8	下町自治公民館	一戸字蒔前（赤線）	斉藤 功
9	摺糠自治公民館	中山字高屋敷28-49、28-101	坂本 登喜広
10	月館自治公民館	月館字大屋敷前田116	柏葉 清美
11	旧中山地区自治公民館	中山字家向64-3	釜石 金七
12	袖ヶ沢自治公民館	奥中山字西田子331-1	漆原 謙一
13	田子自治公民館	小繋字東田子27-1	山崎 広志
14	来田自治公民館	檜山字滝野1-1	大谷 健一
15	女鹿館自治公民館	女鹿字女鹿館109-6	女鹿館 豊
16	中女鹿自治公民館	女鹿字中崎40-2	中崎 政義
17	横町自治公民館	一戸字大沢12-3	小井田 信孝
18	根反自治公民館	根反字中村72（71）	中瀬 春英
19	八幡町自治公民館	一戸字蒔前11-2	近藤 節子
20	駅前諏訪野自治公民館	西法寺字諏訪野2	稲葉 健一
21	中町自治公民館	一戸字本町32	川袋 久男
22	上女鹿自治公民館	女鹿字上女鹿84-2	上女鹿 博則
23	稲荷自治公民館	西法寺字稲荷30	松館 利雄
24	檜山自治公民館	檜山字下檜山27-2（38）	坂ノ上 一成
25	永代町自治公民館	高善寺字野田54-19	波岡 公男
26	青葉日蓄地区自治公民館	奥中山字西田子1370	神田 直孝
27	中田自治公民館	高善寺字古館平31-15	上平 龍一郎
28	小井田自治公民館	一戸字小井田70-1（84-1）	根反 秀則
29	出ル町自治公民館	出ル町字稲荷田7-15	土屋 武彦
30	越田橋自治公民館	一戸字越田橋7-1	夏井 敏明
31	向町自治公民館	一戸字向町50-3	一守 大潤
32	野田坂自治公民館	一戸字向町29	小野寺 政志
33	岩館自治公民館	岩館字馬場平30-1（31-2）	大平 四郎
34	川原田自治公民館	鳥越字川原田平78-3	柴田 三男

# 一戸町地域婦人団体協議会

(令和5年度)

役職名	氏名	会員数	備考	
会長	三浦和枝			
副会長	高橋ふさ子			
	鈴木京子			
書記	山田良子			
会計	小池傳			
	穴久保京子			
特別会計	小野寺佳子			
	米田ユリ子			
事務局	工藤ユキ			
	穴久保京子			
監事	稲葉じゅん			
	高田哲子			
理事	後藤安子		14	小鳥谷婦人会長
	釜谷恵美子		5	小友婦人会長
	間橋生子	12	西法寺婦人会長	
	小寺三枝子	11	岩館婦人会長	
	山田良子	11	一戸婦人会長	
	稲葉じゅん	10	鳥越婦人会長	
合計		63		

# 一戸町文化協会所属部会一覧表

(令和5年度)

役職名	氏名	住所
一戸町文化協会会長	小野寺 善 一	一戸町高善寺
一戸町文化協会副会長	桂 稔	一戸町小鳥谷
一戸町文化協会副会長	上 里 五 月	一戸町小鳥谷
一戸町文化協会監事		
一戸町文化協会監事	畑 中 美枝子	一戸町西法寺
一戸町文化協会顧問	高 橋 幹 子	北上市
一戸町文化協会顧問	東 山 智 子	一戸町西法寺
一戸町文化協会事務局長	田 頭 幸 恵	一戸町一戸
一戸町文化協会事務局次長	折 館 君 子	一戸町一戸

	部会名	会長名	事務局	会員数
1	読書会	小山田 四 一	会長宅	6
2	読書母の会	本 田 良 子	松 田 ミチエ	7
3	美術	門 馬 登	太 田 美嘉子	11
4	書道	古 館 明 子	会長宅	18
5	短歌・俳句	岩 渕 良 子	東 山 智 子	11
6	写真	田 頭 洋 子	鈴 木 智 彦	11
7	コーラスまべち	上 里 五 月	会長宅	15
8	ダンス	村 田 武 雄	会長宅	4
9	華道 池坊	佐 藤 裕 子	会長宅	3
10	園芸 盆栽	桂 稔	会長宅	7
11	茶道 江戸千家	安 江 幸 子	田 頭 幸 恵	6
12	茶道 表千家	佐 藤 裕 子	会長宅	2
13	民謡	小野寺 善 一	中 村 公 義	8
14	詩吟 吟詠会	関 根 忠一郎	野 里 千世子	3
15	水墨画	小 池 傳		
16	大正琴 琴修会	江六前 智 子	会長宅	8
17	大正琴 木村流	大 川 清 子	会長宅	1
18	婦人体力づくり	本 田 良 子	平 敬 子	8
19	編物	澤 内 和 子	会長宅	5
20	ハーブの会	折 館 信 枝	会長宅	2
21	舞踊 水木会	畑 中 美枝子	会長宅	12
22	舞踊 宝扇会	三 崎 みえ子	金田一 ツヤ子	5
23	舞踏 若純会	中 村 純 子	会長宅	5
24	童謡唱歌ねむの会	熊 谷 和 子	東 山 智 子	8

# 一戸町体育協会

会長 梅垣昭三  
 副会長 春日川寛治・大欠清身  
 理事長 中嶋忍  
 監事 松田金谷・相馬憲治

## 種目協会役員名簿

No.	協会名	会長名	事務局(長)名	事務局所在地
1	野球	小野寺善一	湊尚美	一戸町役場
2	卓球	西舘勝利	藤井啓明	一戸町役場
3	バレーボール	西野和幸	猪股成介	一戸町教育委員会
4	バスケットボール	梅垣昭三	赤平武毅	一戸町役場
5	柔道	中嶋敦	磯嶋邦彦	一戸町役場
6	剣道	駒木信一	井橋和宗	一戸町小鳥谷
7	弓道	大谷尚美	片野修	一戸町教育委員会
8	陸上	葦名達実	西舘直貴	一戸町一戸
9	スキー	高橋正一	西舘忍	一戸町宇別
10	山岳	小野寺邦夫	木戸法久	一戸町役場
11	クレー射撃	久保実孝	柴田恵七郎	一戸町鳥越
12	ライフル射撃	柴田慶二	阿部博彦	一戸町鳥越
13	ソフトテニス	吉川勝浩	平幸祐	一戸町役場
14	ゲートボール	齋藤満男	橋場良子	一戸町一戸
15	ターゲット バードゴルフ	梅垣昭三	野田坂博伸	一戸町高善寺
16	ペタンク	宮野光男	下川渉	二戸市福岡
17	硬式テニス	竹沢幸雄	佐藤代和	奥中山地区センター
18	ゴルフ	柴田繁雄	清川浩司	一戸町高善寺
19	グランドゴルフ	木戸繁男	土川彰	高齢者創作館
20	なぎなた	春日川寛治	西村美香	一戸町教育委員会

# 一戸町スポーツ少年団

本部長 大 欠 清 身      副本部長 小 森 正 三      松 館 幸 夫

(令和5年度)

No.	団 体 名	代表指導者名	
1	一戸剣道スポーツ少年団	砂 森 栄 治	
2	一戸町柔道スポーツ少年団	常 前 昌 浩	
3	奥中山高原スポーツ少年団	大 欠 久 雄	
4	一戸野球スポーツ少年団	小 森 正 三	
5	一戸町ソフトテニススポーツ少年団	東 澤 信 幸	
6	一戸町バレーボールスポーツ少年団	猪 股 成 介	
7	一戸サッカースポーツ少年団	浅 里 聖	
8	一戸中学校剣道スポーツ少年団	小保内 理 子	
9	一戸町空手スポーツ少年団	大 森 茂 央	

令和5年度 一戸町子ども会育成連絡協議会理事名簿

番号	地区名	役 職	氏 名	住 所	備 考
1	一戸地区	会長	藤澤 実	一戸町一戸	
2		副会長	播磨 智子	一戸町高善寺	
3		副会長	小石川 宜子	一戸町一戸	
4		副会長	常前 敏	一戸町檜山	
6		監事	橋本 愛美	一戸町一戸	
7		監事	井端 ゆり	一戸町高善寺	
8		事務局	佐々木 美弥子	一戸小学校	
9		一戸南地区	会長	中村 知世	一戸町根反
10	副会長		柴田 綾子	一戸町西法寺	
11	副会長		関上 加奈子	一戸町西法寺	
12	副会長		田中 桂介	一戸町一戸	
13	副会長		小松 充子	一戸町女鹿	
14	事務局		佐藤 新	一戸南小学校	
15	鳥海地区		事務局	天沼 淳子	鳥海小学校
16	小鳥谷地区	事務局	菊池 文孝	小鳥谷小学校	
17	奥中山地区	会 長	澤口 雅実	一戸町中山	
18		副会長	白畑 瑞穂	一戸町中山	
19		副会長	西舘 恵理子	一戸町宇別	
20		監事	釜石 周子	一戸町奥中山	
21		事務局	柳畑 俊輔	奥中山地区センター	
22		常任理事		澤口 大輔	一戸町女鹿

# 一戸町内の指定文化財等一覧

【国指定文化財】

(令和5年4月1日)

No.	種別	名 称	数量	所在地等	指定年月日	内 容
1	重文	蒔前遺跡出土品	253	御所野縄文博物館	H 6. 6. 28	縄文時代晩期の遺物
2		旧朴館家住宅	1	小鳥谷字朴館	H23. 11. 29	県下最大級の古民家
3	史跡	御所野遺跡	1	岩館字御所野	H 5. 12. 21	縄文時代の集落跡
4		奥州街道	1	一戸字大道沢ほか	H22. 2. 22	近世の主要な街道
5	名勝	男神岩・女神岩・鳥越山	1	二戸市石切所 一戸町鳥越 地内	H18. 7. 28	馬淵川沿岸の景勝地
6	特別天然記念物	根反の大珪化木	1	根反字川向	(天) S11. 12. 16 (特天) S27. 3. 29	根を張ったまま直立している日本最大の珪化木
7	天然記念物	藤島のフジ	1	小鳥谷字仁昌寺	S 13. 12. 14	樹齢数百年の巨木
8		実相寺のイチョウ	1	一戸字大沢	S 13. 12. 14	雄株の枝に実のなる特異なイチョウ
9		姉帯・小鳥谷・根反の珪化木地帯	1	姉帯・小鳥谷・根反地内	S 16. 2. 21	広い範囲に分布する保存良好な珪化木地帯
10		浪打峠の交叉層	1	一戸字大越田 一戸字大道沢	S 16. 8. 1	浅海時に形成された交叉層
11		平糠のイヌブナ林	1	平糠	H23. 9. 21	イヌブナの北限自然林

【国登録文化財】

1	建造物	萬代館	1	一戸字本町	H28. 8. 1	映画ブーム時代の県内唯一残る現役映画専用館
---	-----	-----	---	-------	-----------	-----------------------

【県指定文化財】

No.	種別	名 称	数量	所在地等	指定年月日	内 容
1	有形文化財	宮田宝篋印塔	1	月館字大畑	S 58. 8. 5	紀年銘ある県内唯一の宝篋印塔
2		西方寺毘沙門堂	1	西法寺字西法寺	H 3. 3. 29	近世初期の寺
3		雀紋印の馬印	1	御所野縄文博物館	H 7. 9. 1	一戸牧産馬の焼印
4	有形民俗文化財	巡礼納札(鳥越観音)	1	御所野縄文博物館	S 54. 8. 17	糠部33ヶ所巡礼の納札
5		二戸地方の漆蠟関係資料	94	御所野縄文博物館	H18. 9. 26	漆蠟づくり関連資料
6	無形民俗文化財	根反鹿踊り	1	根反地区	H 8. 9. 3	県北地方を代表する鹿踊り
7		一戸の山伏神楽	2	高屋敷神楽 中山神楽	H24. 11. 13	県北地方を代表する神楽
8	史跡	小繫一里塚	1	小繫字小繫	H 2. 8. 28	奥州街道一里塚

【町指定文化財】

No.	種別	名 称	数量	所 在 地 等	指定年月日	内 容
1	有 形 文 化 財	阿 弥 陀 如 来 座 像	1	西法寺字西法寺	S 51. 9. 25	西方寺毘沙門堂にある室町時代の仏像
2		毘 沙 門 天 立 像	1	〃	〃	〃
3		地 蔵 菩 薩 立 像	1	〃	〃	〃
4		木造阿弥陀三尊立像	3	月舘字金葛	S 59. 12. 25	紀年銘をもつ県北地方最古の仏像
5		姉帯馬場宝篋印塔	2	姉帯字馬場	S 38. 6. 8	中世の貴重な石碑
6		悪戸平宝篋印塔	1	鳥越字悪戸平 (共同墓地内)	〃	〃
7		小井田宝篋印塔	2	一戸字小井田	〃	〃
8		大観森宝篋印塔	2	一戸字小井田	〃	〃
9		実相寺宝篋印塔	1	一戸字大沢	〃	〃
10		広全寺宝篋印塔	1	一戸字大沢	〃	〃
11		出ル町宝篋印塔	1	出ル町字檜木	〃	〃
12		薬師堂宝篋印塔	1	月舘字薬師堂	S 53. 10. 30	〃
13		小姓堂宝篋印塔	1	小鳥谷字小姓堂	〃	〃
14		上里宝篋印塔	1	姉帯字上里	〃	〃
15		椀ノ木宝篋印塔	1	小友字椀ノ木	〃	〃
16		半在家五輪塔	1	小友字半在家	〃	町内で唯一の五輪塔
17		青龍刀形石器	1	御所野縄文博物館	S 52. 8. 24	縄文時代の数少ない石器
18		楡目波状文双耳壺	1	御所野縄文博物館	S 61. 12. 25	平安末から鎌倉初期の経壺
19		青磁香炉	1	御所野縄文博物館	S 63. 1. 26	西方寺毘沙門堂の所蔵品
20		小枝八幡宮板碑	1	一戸字小井田	H 7. 10. 2	中世の供養塔
21		関屋大日堂板碑	2	西法寺字関屋	H 7. 10. 2	中世の供養塔
22		帰住証文替証文	1	御所野縄文博物館	H 2. 3. 26	九戸城落城後周辺住民へ帰住を進めた文書の替証文
23		横矧鋌綴桶側 二枚胴具足	1	一戸字本町	S 60. 3. 25	近世初期のよろい
24		越田八幡宮梵鐘	1	御所野縄文博物館	H 16. 11. 26	江戸時代前期の梵鐘

No.	種別	名 称	数量	所 在 地	指定年月日	内 容
25	有形民俗文化財	宝永六年銘 青面金剛庚申供養塔	1	一戸字北館	S 59. 12. 25	町内最古の庚申塔
26		嘉永七年盛岡暦	1	御所野縄文博物館	S 61. 12. 25	農作業のための絵暦
27		西方寺毘沙門堂絵馬	78	西法寺字西法寺 御所野縄文博物館	H 4. 3. 25	近世初期から奉納された絵馬
28		浪岡家の型紙	740	一戸字本町	H 5. 11. 1	染物の型紙
29	無形民俗文化財	小鳥谷七ツ踊り	1	小鳥谷地区	H 26. 2. 24	一戸町を代表する七ツ踊り
30		小友神楽	1	小友地区	H 26. 2. 24	一戸町を代表する山伏神楽
31		女鹿神楽	1	女鹿地区	R 1. 7. 25	一戸町を代表する山伏神楽
32		田中新山社神楽	1	岩館地区	H 26. 2. 24	一戸町を代表する山伏神楽
33	史	火行墳墓	1	中山字西火行	S 53. 10. 30	中世の墳墓
34		笹目子・上女鹿沢 一里塚	2	小鳥谷字笹目子 小鳥谷字上女鹿沢	S 53. 10. 30	奥州街道一里塚
35		穴久保・下女鹿沢 一里塚	2	小鳥谷字穴久保 小鳥谷字下女鹿沢	S 53. 10. 30	奥州街道一里塚
36	跡	姉帯城跡	1	姉帯字川久保・館	H 5. 5. 1	中世城館
37	天然記念物	佐藤家のイグネ林	11	女鹿字上女鹿	S 48. 2. 1	樹齢300年以上
38		宮古沢のアズマヒガン桜	1	鳥越字宮古沢	S 48. 2. 1	樹齢310年
39		出ル町のイチョウ	1	出ル町字出ル町	S 48. 2. 1	樹齢800年
40		八坂神社のケヤキ	1	高善寺字野田	S 48. 2. 1	樹齢400年
41		姉帯鬼淵のセンノキ	1	姉帯字鬼淵	S 48. 2. 1	樹齢380年
42		姉帯上里のカヤ	1	姉帯字上里	S 48. 2. 1	樹齢430年
43		野尻の大イチイ	2	平糠字野尻	H 2. 3. 26	樹齢400年
44		観音堂の藤	1	小鳥谷字仁昌寺	H 4. 3. 25	樹齢150年
45		鳥越観音の参道樹木	17	鳥越字宮古沢	H 6. 5. 1	古寺の参道樹木
46		奥中山のクリ	2	奥中山字西田子	H 21. 11. 25	樹齢100年以上

